

Hondaナビゲーションシステム 取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

DUAL SIZE HDD NAVI COMPO

VXH-089CV

オーディオ編



MP3 WMA



Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
ご購入いただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買いあげの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。




保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

※取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

安全に正しくお使いになるために

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

●その他の表示



お知らせ

操作に関するお知らせです。



アドバイス

使いこなすためのアドバイスです。



お願い

お車のために守っていただきたいことです。

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

お知らせ

操作に関連することなどを記述しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

DVDプレーヤーの使い方

タッチスイッチから早送り・早戻しする

1 ◀ または ▶ を「ピッ」と音がするまでタッチします。

- 「ピッ」と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。



いま見ているチャプターを繰り返し再生する

1 CHAPTER リピート にタッチします。



自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を
されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(150 ページ)

▶ 次ページに続く 149

次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、○○○ (AUDIO・MENU など) でスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、○○○ でスイッチ名称を表示しています。

1 つ前の画面にもどるときは、◀ 戻る にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。(一部の機能では、キャンセルされないものがあります。)

操作は全ての機能が有効である場合の画面で説明しています。

タイトル目次

タイトル目次

はじめに	ボテタイプとティーターを 設定する52
特長	音量バランスの調整53
ご使用になる前に	LOUDNESSの設定54
ディスクについて	音質補正の設定 (ハーモナイザー)55
液晶パネルについて	音量補正の設定 (車速運動音量)56
TVについて	背景画の設定57
基本操作	壁紙の設定57
ソースの切り替え方	壁紙を切り替える57
ソースを切り替える	画像データを書き換える58
操作画面の表示	使用できる画像データについて60
音ソースの操作画面	画像データを保存する61
	画像データを消去する63

本のタイトル項目を順番に並べた
ものです。

知りたい操作目次

知りたい操作目次

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

オーディオ操作画面や映像画面を見やすくしたい



オーディオ操作画面などのコントラストや色合いなどを調整する方法について説明しています。

「画質調整画面の表示」.....P64

●オーディオ操作画面時

画面を消したい



ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。

各機能ごとにタイトル項目を抜粋したものです。
操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索してお使いください。

タイトル目次

はじめに	
特長	34
ご使用になる前に	36
ディスクについて	37
液晶パネルについて	40
TV・ワンセグについて	40
基本操作	
ソースの切り替え方	42
ソースを切り替える	42
操作画面の表示	43
各ソースの操作画面	44
音の調整	45
主音量の調整	45
操作音の設定	45
音質の調整	46
音質調整画面の表示	46
Circle Surround IIの設定	47
DSP（音場）の設定	48
DSP（音場）モードを設定する	48
DSP（音場）の調整、記憶	48
DSP（音場）レベルを リセットする	48
EQ（イコライザ）の調整	49
音質を設定する	49
EQ カーブの調整、記憶	49
EQカーブをリセットする	50
POS（ポジショニングセレクター）の 調整	51
ポジションを設定する	51
ボデータイプとツイーターを 設定する	52
FADER BALANCE （音量バランス）の調整	53
LOUDNESSの設定	54
音質補正の設定 （ハーモナイザー）	55
音量補正の設定 （車速連動音量）	56
背景画の設定	57
壁紙の設定	57
壁紙を切り替える	57
画像データを書き換える	58
使用できる画像データについて	60
画像データを保存する	61
画像データを消去する	63
画面の調整・設定	64
画質調整画面の表示	64
ライト点灯時に昼画表示に するには	65
画面を消すときは	65
画質の調整	66
タッチスイッチの設定	67
画面スイッチの表示切り替えに ついて	67
機能スイッチの表示について	67
画面モード切り替え	68
ラジオの操作	
ラジオの使い方	69
ラジオを聞く	69
聞きたい放送局を選ぶ	69
手動で選ぶ	69
自動で選ぶ	69
プリセットスイッチから選ぶ	69

放送局を記憶する	70
マニュアル（手動）で記憶する	70
AUTO.P（自動）で記憶する	70
AUTO.Pで記憶した放送局を 変更する	71
エリアスイッチについて	71
交通情報を聞く	71
周波数を記憶する	71
局名スイッチについて	72
ラジオを止める	72

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方	73
CDを聞く	73
聞きたい曲を選ぶ	74
早送り・早戻しする	74
聞きたい曲を探す	74
同じ曲を繰り返し聞く	74
曲の順番をランダムに聞く	74
携帯電話でアルバム情報を見る	75
CDを止める	75

MP3/WMAプレーヤーの操作

MP3/WMAプレーヤーの 使い方	76
MP3/WMAを聞く	77
聞きたいフォルダを選ぶ	77
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	77
フォルダ・ファイル選択 スイッチから選ぶ	77
選曲・頭出しスイッチから選ぶ	77
早送り・早戻しする	78

1つ上の階層を表示する	78
現在の階層を表示する	78
聞きたい音楽ファイルを探す	78
同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	78
順番をランダムに聞く	79
音楽ファイル情報などを 表示する	79
MP3/WMAを止める	79
MP3/WMAについて	80

再生可能なMP3ファイルの 規格について	80
再生可能なWMAファイルの 規格について	80
ID3タグ/WMAタグについて	80
使用できるメディアについて	81
使用できるディスクの フォーマットについて	81
ファイル名について	83
CD-R、CD-RWについて	83
MP3/WMAの再生について	83
MP3/WMAの演奏時間表示に ついて	83
MP3/WMAファイル、フォルダの リスト表示順番	83

MP3/WMAファイルの作り方、 楽しみ方

インターネット上のMP3/WMA 音楽配信サイトから 入手する場合	84
音楽CDからMP3/WMAファイルに 変換する場合	84
CD-R/RWに書き込む場合	84

MUSIC RACKの操作

MUSIC RACKを お使いになる前に	85
MUSIC RACKの概要	85

MUSIC RACKの構成について 85	MUSIC RACKへの録音について 102
プレイモード・	録音できるソースと
プレイリストについて 86	録音方式について 102
データベースについて 87	録音についての注意 102
Gracenote メディア	デジタル録音（4倍速録音）に
データベースについて 87	ついて 103
メディアクリックデータベース	アナログ録音（等倍速録音）に
(MCDB) について 88	ついて 103
オートタイトリング機能について 89	録音方式の設定 104
デジタル録音 89	デジタル録音モードを設定する 104
アナログ録音 89	オートトラックマークを
データベース情報の表示に	設定する 105
ついて 90	録音ビットレートを設定する 105
データベースの更新について 91	MUSIC RACKへの録音 106
Gracenote メディアデータベースを	CDを再生しながら
更新する 91	自動で録音する 107
メディアクリックのデータベースを	CDの中からお好みのトラック（曲）を
更新する 92	録音する 108
タイトル情報の受信について 93	CDプレーヤー以外のソースから
タイトル情報の受信について 93	録音する 109
タイトル情報の保存について 93	MUSIC RACKの使い方 110
タイトル情報の受信 94	MUSIC RACKを聞く 110
タイトル情報の表示 94	表示・再生について 111
CDタイトルを表示する 94	再生中のプレイリストの中で
CD情報インジケータの表示を	聞きたいトラック（曲）を
設定する 95	選ぶ 111
新譜情報を表示する 96	選曲・頭出しスイッチから選ぶ 111
携帯電話で新譜情報を見る 97	トラック切り替え
新譜情報受信メッセージの表示を	スイッチから選ぶ 111
設定する 98	プレイモード・プレイリストから
タイトル情報の更新 99	聞きたいトラック（曲）を
CDタイトルを更新する 99	選ぶ 112
新譜情報を更新する 99	“AGENT” から選ぶ 114
ハードディスクの容量確認 100	早送り・早戻しする 115
操作の流れについて 101	
MUSIC RACKへの録音 102	

聞きたいトラック (曲) を 探す	115
プレイリストの中から聞きたい 曲を探す	115
プレイモードの中から聞きたい プレイリストを探す	115
聞きたいトラック (曲) を 繰り返し聞く	115
いま聞いている曲を 繰り返し再生する	115
いま聞いているプレイリストを 繰り返し再生する	115
トラック (曲) の順番をランダムに 聞く	116
いま聞いているプレイリストの中から ランダムに再生する	116
いま聞いているプレイモードの中から ランダムに再生する	116
トラック (曲) 情報などを 表示する	117
携帯電話でアルバム 情報を見る	117
MUSIC RACKを止める	117
プレイリストの編集	118
プレイリストの作成	118
プレイリスト名を入力する	118
作成したプレイリストに トラックを追加する	120
プレイリストの名称入力	121
カナ、英字、数・記号の入力	122
リスト名称の編集	123
ジャケット写真の表示を 設定する	124
タイトル情報の再取得	124
プレイリストの並び替え	126
お好みに合わせて並び替える	126
作成した順番に並び替える	126

プレイリストの削除	127
トラックの編集	128
トラック情報の編集	128
トラック編集画面の呼び出し	128
トラックタイトルを変更する	129
アーティストを変更する	130
ジャンルを変更する	130
トラックの削除	131

TVの操作

TVの使い方	133
TVを見る	133
見たいチャンネルを選ぶ	133
手動で選ぶ	133
自動で選ぶ	134
プリセットスイッチから選ぶ	134
チャンネルを記憶する	134
マニュアル (手動) で記憶する	134
AUTO.P (自動) で記憶する	134
AUTO.Pで記憶したチャンネルを 変更する	134
マルチチャンネルビューを 表示する	135
TV設定画面の切り替え	136
エリアスイッチについて	136
局名スイッチについて	137
音声多重放送を切り替える	137
TVを終わる	138

ワンセグの操作

ワンセグの使い方	139
ワンセグを見る	139

見たいチャンネルを選ぶ	140
手動で選ぶ	140
自動で選ぶ	140
プリセットスイッチから選ぶ	140
チャンネルを記憶する	141
マニュアル（手動）で記憶する	141
AUTO.P（自動）で記憶する	141
AUTO.Pで記憶したチャンネルを 変更する	141
ワンセグ設定画面の切り替え	142
音声多重放送を切り替える	142
字幕を切り替える	143
緊急警報放送を 受信したときは	143
EPG（電子番組表）を見る	143
ワンセグを終わる	143

DVD/VTRの操作

DVDプレーヤーをお使いに なる前に	144
DVDビデオの特長	144
マルチ音声機能について	144
マルチアングル機能について	144
字幕表示機能について	145
ディスクについて	145
再生できるディスクの 種類について	145
再生可能なディスクの地域番号 （リージョンコード）に ついて	145
ディスクに表示されている マークについて	146
ディスクの構成について	146
操作の流れについて	147

DVDプレーヤーの使い方	148
DVDを見る	148
映像を操作する	149
映像を再生する	149
早送り・早戻しする	149
パネルスイッチから 早送り・早戻しする	149
タッチスイッチから 早送り・早戻しする	149
いま見ているチャプターを 繰り返し再生する	149
映像を一時止める	150
映像を止める	150
ディスクメニューを操作する	150
画面を直接タッチして操作する	151
タッチスイッチから操作する	151
DVDを止める	152
見たい映像を探す	152
チャプターから探す	152
タイトル番号から探す	152
チャプター番号から探す	153
スイッチの表示を切り替える	154
タッチスイッチを消す	154
タッチスイッチの表示場所を 切り替える	154
画面表示・音声の切り替え	154
アングルを切り替える	154
字幕言語を切り替える	155
音声言語を切り替える	155
DVDプレーヤーの設定	156
音声言語を設定する	157
コードを入力する	157
字幕言語を設定する	157
コードを入力する	157
メニュー言語を設定する	158
コードを入力する	158

マルチアングルマークの表示を
設定する 158
視聴制限を設定する 159
映像出力を切り替える 160

言語コード一覧 161

VTRの使い方 162

VTRを見る 162

VTR設定画面の切り替え 162

VTRを終わる 162

ポータブルオーディオ機器接続時

ポータブルオーディオ機器の
操作 163

ポータブルオーディオを
お使いになる前に 163

ポータブルオーディオを接続する
(取りはずす) 164

ポータブルオーディオを聞く 164

ポータブルオーディオを
終わる 164

ご参考に

知っておいていただき
たいこと 165

こんなメッセージが
表示されたときは 165

故障とお考えになる前に 169

用語説明 172

Gracenoteメディアデータベースの
ご利用について 175

FM de TITLEサービス
放送局について 176

索引 177

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

■オーディオ操作画面や映像画面を見やすくしたい



オーディオ操作画面などのコントラストや色合いなどを調整する方法について説明しています。

「画質調整画面の表示」..... P64

●オーディオ操作画面時

■画面を消したい



ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。

「画面を消すときは」..... P65

●オーディオ操作画面時

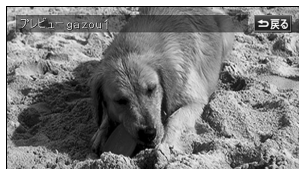
■操作画面などのタッチスイッチを消したい



タッチスイッチを表示させなくする操作や、機能スイッチの表示切り替えについて説明しています。

「タッチスイッチの設定」..... P67

■壁紙に使用できるデータについて知りたい



本機の壁紙に使用できるデータ（仕様）について説明しています。

「使用できる画像データについて」..... P60

●プレビュー画面

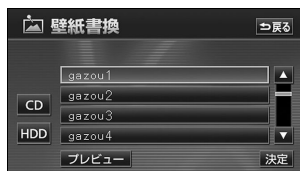
■ 壁紙を切り替えたい



壁紙の切り替え方法について説明しています。

「壁紙を切り替える」..... P57

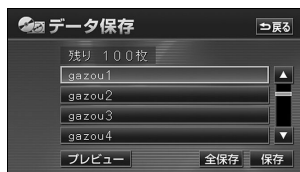
■ パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像を壁紙にしたい



壁紙の書き換え（画像の書き換え）方法について説明しています。

「画像データを書き換える」..... P58

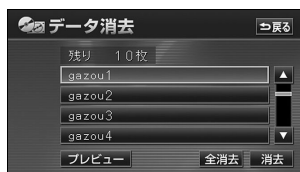
■ パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像をHDDに保存したい



画像データの保存方法について説明しています。

「画像データを保存する」..... P61

■ HDDから画像データを削除したい



画像データの消去方法について説明しています。

「画像データを消去する」..... P63

■ 画面をワイドモードにしたい



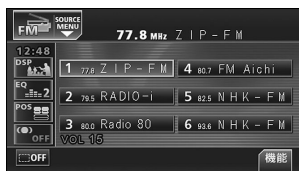
TVやDVD、VTRの画面表示サイズを切り替える方法について説明しています。

「画面モード切り替え」..... P68

●ワイドモード切り替え画面

<音の調整に関して>

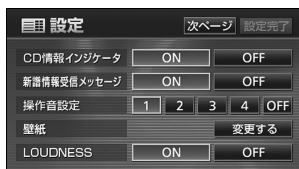
■音量をかえたい



音量を調整する方法について説明しています。

「主音量の調整」..... P45

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）



スイッチを押したときなどの操作音を設定する方法について説明しています。

「操作音の設定」..... P45

■音質をかえたい



車室内の音質を調整する方法について説明しています。

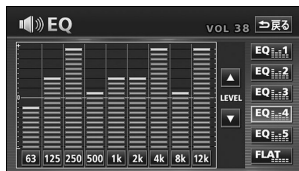
●マルチチャンネルを擬似的に創り出したい

「Circle Surround II の設定」..... P47



●演奏会場を擬似的に創り出したい

「DSP (音場) の設定」..... P48



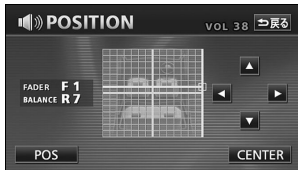
●イコライザを調整したい

「EQ (イコライザ) の調整」..... P49



●乗車位置や車のボデータイプなどに合わせて、音像定位を切り替えたい

「POS（ポジショニングセレクター）の調整」..... P51



●前後左右の音量のバランスを調整したい

「POS（ポジショニングセレクター）の調整」..... P51



●小音量時などにメリハリのある音にしたい

「LOUDNESSの設定」..... P54



●MP3/WMAの音質を調整したい

「音質補正の設定（ハーモナイザー）」..... P55



●走行時でも停車時と同じように音楽を聞きたい

「音量補正の設定（車速連動音量）」..... P56

オーディオ関係

<ラジオの使い方について>

■ラジオを聞きたい



ラジオを受信する方法について説明しています。

「ラジオを聞く」..... P69

■放送局を探したい



放送局の手動選局や、自動受信について説明しています。

「聞きたい放送局を選ぶ」..... P69

■放送局を記憶させたい



プリセットスイッチ

選局した放送局をプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「放送局を記憶する」..... P70

■今、いるエリアの放送局を知りたい



今いる場所の放送局や周波数を表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..... P71

< CD/DVD プレーヤーの使い方について >

CD の操作

■ CD を聞きたい



CDを再生する方法について説明しています。

「CDを聞く」..... P73

■ 聞きたい曲を選びたい



次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」..... P74

■ 聞きたい曲が何番目に入っているかわからない



全曲の始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」..... P74

■ いま聞いている曲を繰り返し再生したい



今聞いている曲を繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返し聞く」..... P74

■ いつもと違う順番で聞きたい



CDの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」..... P74

■聞きたい音楽ファイルを探したい



再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの最初の10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい音楽ファイルを探す」..... P78

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい



今聞いているファイルを繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」..... P78

■普段と違う順番で聞きたい



再生中のフォルダを含め、その階層以下の全ファイルの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「順番をランダムに聞く」..... P79

■ディスクに記録したファイル情報を表示したい



音楽ファイル情報を表示する方法について説明しています。

「音楽ファイル情報などを表示する」..... P79

■MP3/WMAについて知りたい

本機で再生できるMP3/WMAのデータ（規格）について説明しています。

「MP3/WMAについて」..... P80

■MP3/WMAファイルの作り方を知りたい

MP3/WMAファイルの一般的な作り方について説明しています。

「MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方」..... P84

DVDの操作

■DVDビデオを見たい



DVDを再生する方法について説明しています。

「DVDを見る」..... P148

■ディスクについて知りたい



ディスクのマークや再生できるディスクの種類などについて説明しています。



●ディスクやパッケージに表示しているマークの意味が知りたい

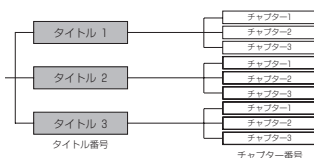


「ディスクに表示されているマークについて」..... P146



●再生できるディスクを知りたい

「再生できるディスクの種類について」..... P145



●ディスクの構成を知りたい

「ディスクの構成について」..... P146

■ディスクに記録されているメニューを操作したい



DVDに記録されているディスクメニューを切り替える方法について説明しています。

「ディスクメニューを操作する」..... P150

■いま見ているチャプターを繰り返し再生したい



今見ているチャプターを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま見ているチャプターを繰り返し再生する」..... P149

■再生している映像を操作したい



映像を操作する方法について説明しています。

「映像を操作する」..... P149

■映像を選びたい・探したい



チャプターやタイトル番号、メニュー番号などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「チャプターから探す」..... P152



「タイトル番号から探す」..... P152



「チャプター番号から探す」..... P153

■タッチスイッチの表示を切り替えたい



タッチスイッチの表示場所を切り替える方法について説明しています。

「スイッチの表示を切り替える」..... P154

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい



DVDに記録されている音声言語や字幕言語などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「アングルを切り替える」..... P154

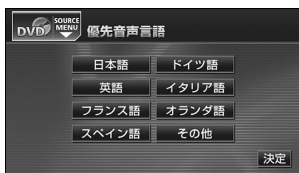


「字幕言語を切り替える」..... P155



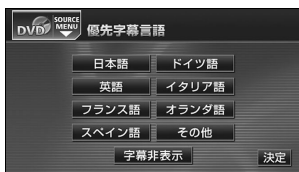
「音声言語を切り替える」..... P155

■ プレーヤーの設定について知りたい

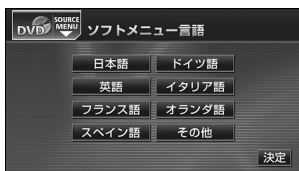


DVDプレーヤーの設定を切り替える方法について説明しています。

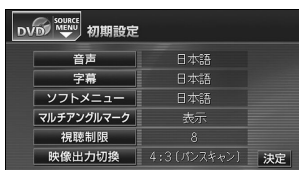
「音声言語を設定する」..... P157



「字幕言語を設定する」..... P157



「メニュー言語を設定する」..... P158



「マルチアングルマークの表示を設定する」..... P158



「視聴制限を設定する」..... P159



「映像出力を切り替える」..... P160

MUSIC RACKについて

< MUSIC RACKの使い方について >

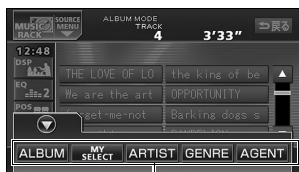
■ MUSIC RACK を聞きたい



MUSIC RACKを再生する方法について説明しています。

「MUSIC RACKを聞く」..... P110

■ MUSIC RACK について知りたい

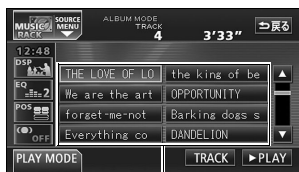


MUSIC RACKについての説明やMUSIC RACKの構成について説明しています。

「MUSIC RACKの概要」..... P85

「MUSIC RACKの構成について」..... P85

プレイモード



プレイリスト



トラック

■録音について知りたい

音楽や音声を録音するために知っておいていただきたいことについて説明しています。

「MUSIC RACKへの録音について」..... P102

「録音についての注意」..... P102

●録音できるソースについて知りたい

録音できるオーディオのソースについて説明しています。

「録音できるソースと録音方式について」..... P102

●録音の設定を切り替えたい

録音モードや録音ビットレートの切り替えについて説明しています。

「録音方式の設定」..... P104



■データベースについて知りたい

本機に収録されている音楽データ（Gracenote メディアデータベース/メディアクリックデータベース）について説明しています。

「データベースについて」..... P87

■オートタイトリング機能について知りたい

録音された音楽にデータベースからタイトル情報を自動付与するしくみについて説明しています。

「オートタイトリング機能について」..... P89

■タイトルデータベースを更新したい



Gracenote メディアデータベース/メディアクリックデータベースを更新する方法について説明しています。

「データベースの更新について」..... P91

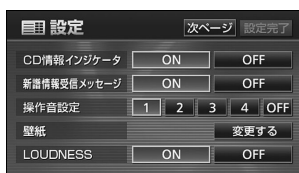
■ タイトル情報を受信したい



FM多重放送を使って、CDタイトルや新譜情報（ジャケット写真）を受信する方法について説明しています。
「タイトル情報の受信について」..... P93



受信したCDタイトルの表示方法について説明しています。
「CDタイトルを表示する」..... P94



CDタイトルを受信し、確認可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFについて説明しています。
「CD情報インジケータの表示を設定する」..... P95

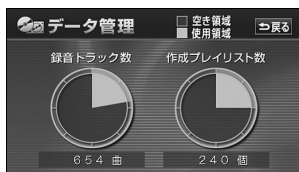


受信した新譜情報の表示方法や、携帯電話で読み取ることができる2次元バーコードの表示方法について説明しています。
「新譜情報を表示する」..... P96



新譜情報を受信し、確認可能になったことをお知らせするメッセージの表示ON/OFFについて説明しています。
「新譜情報受信メッセージの表示を設定する」..... P98

■ハードディスクの容量を表示したい



ハードディスクの使用状況を確認する方法について説明しています。

「ハードディスクの容量確認」..... P100

■MUSIC JUKEに録音したい

録音マーク



進捗バー

音楽CDや、その他のモードから録音する方法について説明しています。

●CDアルバムを自動で録音したい

「CDを再生しながら自動で録音する」..... P107



●CDを再生しながら好きな曲を録音したい

「CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する」..... P108



●他のオーディオソースから録音する

「CDプレーヤー以外のソースから録音する」..... P109

■プレイリストを編集したい



●編集メニュー画面

オリジナルプレイリストを作成する方法や、リスト名称を編集する方法などについて説明しています。

●新しいプレイリストを作成したい
「プレイリストの作成」..... P118



●新しくアーティストをリストに追加したい
「アーティストを変更する」..... P130



●作成したプレイリストを編集したい
「リスト名称の編集」..... P123



●プレイリストを削除したい
「プレイリストの削除」..... P127



●プレイリスト・トラックを並び替えたい
「プレイリストの並び替え」..... P126

■トラック（曲）を編集したい



オリジナルプレイリストにトラック（曲）を追加登録する方法や、トラック情報（曲情報）を修正する方法などについて説明しています。

●作成したプレイリストにトラック（曲）を追加したい
「作成したプレイリストにトラックを追加する」..... P120



●録音したトラック（曲）を編集したい
「トラック情報の編集」..... P128

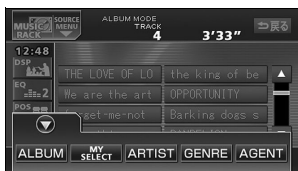


●トラック（曲）を削除したい
「トラックの削除」..... P131



●情報を更新したい
「タイトル情報の再取得」..... P124

■聞きたいトラック（曲）を選びたい



プレイモード/プレイリストの切り替えや、次のトラック（曲）に切り替える方法などについて説明しています。

「再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ」..... P111

「プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ」..... P112

■ドライブの気分に合わせて、自由に音楽を再生したい



その日の気分やドライブしている状況に合わせて、トラック（曲）を再生する方法について説明しています。

「AGENT」から選ぶ」..... P114

■聞きたいトラック（曲）を探したい



再生中のプレイリスト内、全トラック（曲）の最初の10秒間だけ再生する方法や、再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に録音されている曲を、最初の10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「プレイリストの中から聞きたい曲を探す」..... P115

「プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す」..... P115

■いま聞いているプレイリストやトラック（曲）を繰り返し再生したい

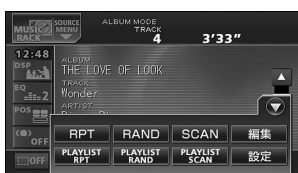


今聞いているトラック（曲）を繰り返し再生する方法や、今聞いているプレイリストを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」..... P115

「いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する」..... P115

■いつもと違う順番で聞きたい



プレイリストの中から任意に選曲し、再生する方法や、録音されている全トラック（曲）の中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する」... P116

「いま聞いているプレイモードの中からランダムに再生する」... P116

■TVの設定画面に表示を切り替えたい



TVの設定画面に切り替える方法について説明しています。

「TV設定画面の切り替え」..... P136

■今、いるエリアの放送局を知りたい



今いる場所の放送局やチャンネルを表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..... P136

■今、聞いている音声を切り替えたい



主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」..... P137

■同時に複数の番組を表示したい



プリセットされているチャンネルを最大8画面に分割して表示する方法について説明しています。

「マルチチャンネルビューを表示する」..... P135

ワンセグについて

<ワンセグの使い方について>

■ワンセグを見たい



ワンセグを受信する方法について説明しています。
「ワンセグを見る」..... P139

■放送局を探したい



チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。
「見たいチャンネルを選ぶ」..... P140

■放送局を記憶させたい



選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。
「チャンネルを記憶する」..... P141

■今、聞いている音声を切り替えたい



主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。
「音声多重放送を切り替える」..... P142

■今、見ている字幕を切り替えたい



字幕を切り替える方法について説明しています。

「字幕を切り替える」..... P143

■EPG（電子番組表）を見たい

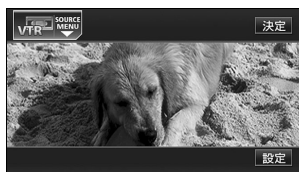


EPG（電子番組表）を表示する方法について説明しています。

「EPG（電子番組表）を見る」..... P143

VTRに関して

■VTRを使いたい



別売のVTRコードで市販のVTR機器を接続したときの操作方法について説明しています。

「VTRの使い方」..... P162

AUXに関して

■ポータブルオーディオなどの音声を本機で出力したい



市販のポータブルオーディオを本機のミニプラグコード端子に接続したときの操作方法について説明しています。

「ポータブルオーディオ機器の操作」..... P163

その他

<わからなくてお困りのとき>

■画面のメッセージがわからない

画面に表示されるメッセージの意味と、処置方法について説明しています。

「こんなメッセージが表示されたときは」..... P165

■故障かどうかわからない

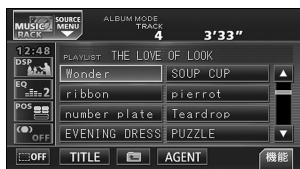
本機が故障しているのかどうかわからないときに、症状と簡単な処置方法について説明しています。

「故障とお考えになる前に」..... P169

特長

音楽の録音を可能にした MUSIC RACK (ミュージック ラック) (85ページ)

大容量の音楽ハードディスクを搭載し、各オーディオモードから流れる音楽や音声を、簡単に録音できます。また、音楽CDは、通常の数倍で再生しながら、4倍の速さで録音することが可能です。録音したデータは、種類別に検索できるほか、編集機能でプライベートアルバムを作成することもできます。



理想の音響空間を創り出す音質 調整機能 (46ページ)

車が持つさまざまな音響空間や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。



アルバム数枚分を収録した音楽 ディスクを再生するMP3/ WMAプレーヤー (76ページ)

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。また、MP3よりも高い圧縮率のWMAデータを再生することもできます。



複数の番組を同時に表示する TV マルチチャンネルビュー機 能 (135ページ)

プリセットされている放送局の番組情報を順次表示します。放送中の番組を一度に確認することができます。



乱れない安定したTV映像が 楽しめるワンセグチューナー (139ページ)

地上デジタルTVならではの、乱れない安定した映像という特長はそのままに、放送するデータ量を少なくすることでより広範囲なエリアで視聴できるワンセグ放送を受信することができます。



美しい映像と迫力あるサウンド が楽しめるDVD プレーヤー (144ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。(DVDは、映画1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



DVDメニューを直接操作できるダイレクトタッチ機能

(150ページ)

DVDのディスクメニューに直接タッチして操作することができます。



システムアップ

- **VTRコード** (162ページ)
別売のVTRコードを接続すると、本機でビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。
- **リア席モニター** (リア席モニター取扱書)
オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

好みの画像を壁紙として表示する壁紙機能 (57ページ)

気分に合わせて5種類の中から壁紙を切り替えて表示することができるほか、CD-R、CD-RWに記録した画像データを取り込み、壁紙として表示することもできます。



再生中のアルバム情報を携帯電話で見ることができる2次元バーコード表示機能 (75ページ)

携帯電話を使って2次元バーコードを読み取ると、再生中のアルバムに関連する携帯サイトへ接続することができます。



ご使用になる前に

△ 注意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



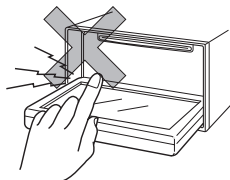
交通事故の原因となります。

走行中運転者はTVの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



交通事故の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。

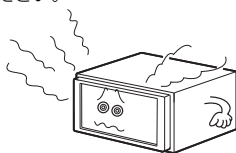


ケガをしたり、故障の原因となります。



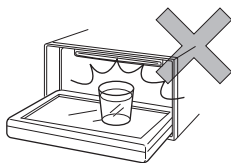
お願い

故障したままの使用は絶対しないでください。煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



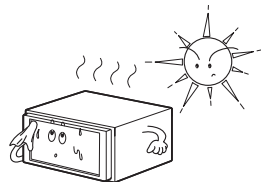
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。



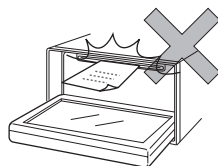
故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



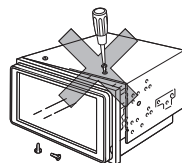
故障の原因となります。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。



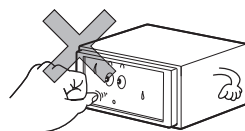
故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。

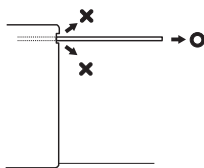


本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。



本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらか引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。

ディスクについて



お願い

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用 CD・映像用 DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVD ビデオフォーマットに準じて記録された DVD ± R/RW ディスクも再生することができます。



- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていない CD-R、CD-RW や UDF フォーマットで書き込みされた CD-R、CD-RW は再生できません。（MP3/WMA は除く）
- DVD ± R/RW（DVD-Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていない DVD ± R/RW は再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT 機能は市販の CD-TEXT 対応 CD のみ対応しています。CD-R や CD-RW では文字が正常に表示されない場合があります。
- 記録部分に透明または半透明部分がある CD、C-thru Disc は、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

ご使用になる前に



お願い

- スーパーオーディオCD (SACD)はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



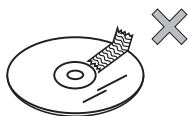
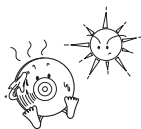
- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSが混在のMixed Mode CDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。
- 8cm DVDは再生できません。

ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



- 記録面に触れないように持ってください。(虹色が光っている面) ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをすることがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

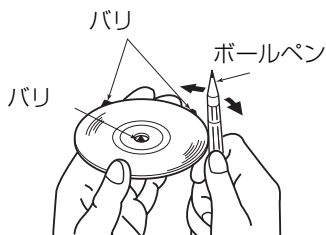




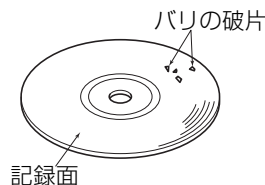
お願い

新しいディスクについて

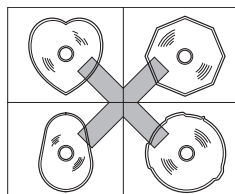
- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。

**レンタルディスクについて**

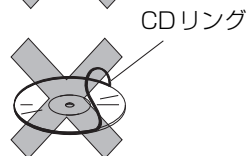
- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

**特殊形状のディスクについて**

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

**ディスクのアクセサリについて**

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリ（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかつたり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。
- 8cmCD を差し込むときはアダプタを使用しないでください。CD を取り出せなくなるおそれがあります。



ご使用になる前に

液晶パネルについて



お知らせ

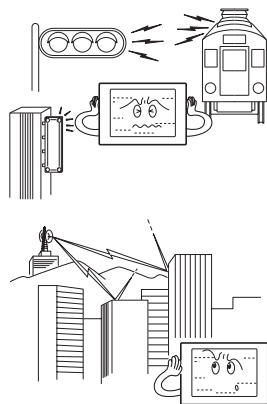
- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TV・ワンセグについて



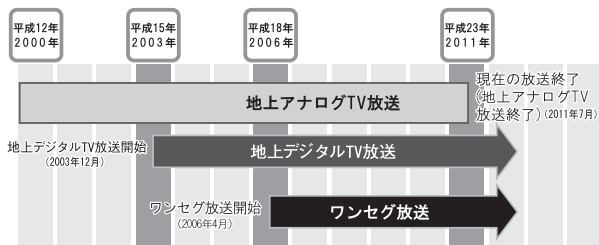
お知らせ

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載器での地上アナログTV放送およびワンセグ放送の受信は受信場所によって、電波の強さかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合や、画像が静止したり音声が入りづらい場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合や、画像が静止したり音声が入りづらい場合があります。
 - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が乱れたり雑音が入る場合や、画像が静止したり音声が入りづらい場合があります。



お知らせ

- 本機のTVは、以下の放送を受信できます。
 - 地上アナログTV放送
 - 地上デジタルTV放送のワンセグ放送サービス
- 地上デジタルTV放送には、ワンセグ放送と12セグメント放送のサービスがあり、本機では12セグメント放送の受信はできません。
- <地上デジタルTV放送とは>
- 地上デジタルTV放送は、1つのチャンネルを13個の「セグメント」と呼ばれる単位で分割して管理しており、そのうち12セグメントを12セグメント放送用に使用し、残りの1セグメントをワンセグ放送用として使用しています。
 - 地上デジタルTV放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、2006年12月には全国の都道府県庁所在地で放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。地上アナログTV放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。
 - ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。



- サービスエリアと放送局
 詳しい地上デジタルTV放送のサービスエリアは、社団法人 デジタル放送推進協会 (Dpa) ※のホームページ (<http://www.d-pa.org>) をご覧ください。
 ※2007年4月に社団法人 地上デジタル放送推進協会から協会名が変わりました。
- 地上アナログTV放送は2011年7月に終了し、地上デジタルTV放送に移行します。2011年7月以降は、内蔵のワンセグチューナでTV放送をご覧ください。

2011年 アナログテレビ放送終了 (7月)

ソースの切り替え方

ソースを切り替える

■パネルスイッチから切り替える

1 MENU を押します。

- オーディオメニュー画面が表示されないときは、**オーディオ** にタッチします。
- **MENU** を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることもできます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面
 ↑ 情報メニュー画面 ↓



●オーディオメニュー画面

2 オーディオメニュー画面のオーディオソース切り替えスイッチにタッチします。

- タッチしたソースがスクリーン表示（オンスクリーン表示）されます。
- **ページ切換** にタッチすると、7個目以降のオーディオモードが表示されます。もう一度タッチすると、もとの画面にもどります。



オーディオソース切り替えスイッチ



●オンスクリーン画面

操作画面の表示

- 1 AUDIO を押します。



■ タッチスイッチから切り替える

- 1 オーディオ操作画面で、図の位置の SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

— SOURCE MENU 呼び出しスイッチ



- 2 ソースメニューのオーディオソース切り替えスイッチにタッチします。

- タッチしたソースの操作画面が表示されます。
- ▲ にタッチすると、もとの画面にもどります。



各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面



●MUSIC RACK 操作画面



●TV 操作画面



●ワンセグ操作画面



●AUX操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



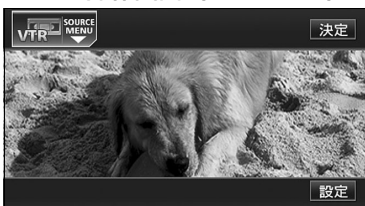
●MP3/WMAプレーヤー操作画面



●DVDプレーヤー操作画面



●VTR操作画面 (オプション)

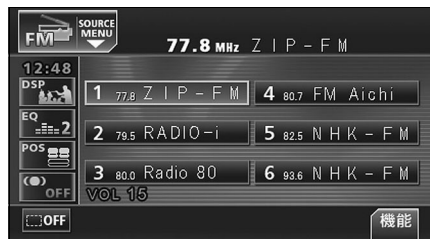


音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- 調整レベルは0～40です。
 - ▲ (右側) : 音量UP (大きくなる)
 - ▼ (左側) : 音量DOWN (小さくなる)



操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除 (消音) になります。



4 **設定完了** にタッチします。

お知らせ

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- ソースを DVD プレーヤー、または AUX に切り替えたときに音量を調整すると、DVD プレーヤー用、または AUX 用の音量レベルとして記憶させることができます。
- ソースを DVD プレーヤー、または AUX に切り替えたときに調整した音量レベルは、他のソースでは機能しません。DVD プレーヤー、または AUX の前に使用していたソースで調整した音量レベルになります。
- 設定できる操作音は、“ピッ” という音のみです。“ピーッ” や “ピッピッ” という音は設定することができません。

音質の調整

音場の設定やイコライザ、音量バランスなどを調整することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。

音質調整画面の表示

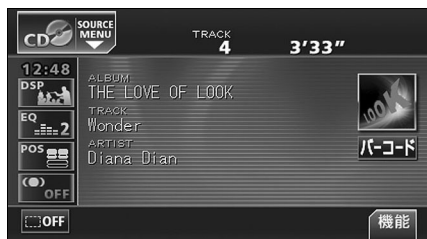
音質の調整には、各ソースの操作画面から行うものと、情報画面から行うものがあります。

タッチスイッチ・項目	機能	画面	ページ
Circle Surround II	既存のスピーカーシステム（お車のスピーカーが4つの場合）で、簡単に疑似サラウンドを創り出すことができます。	操作画面	47
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて、イメージに合った音場（演奏会場）を再現することができます。	操作画面	48
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	操作画面	49
POS	乗車人数や乗車位置、お車のボデータイプ、ツイーターの有無に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整することができます。	操作画面	51
LOUDNESS	小音量時に低・高音を強調することができます。	情報画面	54
ハーモナイザー	MP3/WMAで圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	情報画面	55
車速連動音量	車両速度に応じて音量を調整します。	情報画面	56

■ 操作画面からの設定

1 各オーディオ操作画面で、音質調整のタッチスイッチにタッチします。

- T・V・ワンセグ・VTR 操作画面では **設定**、DVD 操作画面では **NEXT**、**設定** の順にタッチすると、音質調整のタッチスイッチが表示されます。



■ 情報メニュー画面からの設定

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



Circle Surround II の設定

Circle Surround II は、センタースピーカーやサブウーファが接続されていなくても、低音の迫力感や音像の定位感を再現する機能です。

- Circle Surround II は、DSP、POS および LOUDNESS と同時に設定できません。
- Circle Surround II、SRS と (●) 記号は SRS Labs, Inc. の商標です。
- Circle Surround II 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

1 **●** にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに下記のように切り替わります。

OFF → LOW → HI



- LOW：迫力・臨場感の効果が小さい
HI：迫力・臨場感の効果が大きい
OFF：機能を解除します。



音質の調整

DSP (音場) の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP (音場) モードを設定する

1 **DSP** にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
CLUB	ディスコ、クラブ
THEATER	映画館・劇場
OFF	DSP OFF

DSP (音場) の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP (音場) をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで画面左の **▲**、**▼** にタッチします。

- 調整レベルは-5~+5の11段階です。

2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



DSP (音場) レベルをリセットする

現在、記憶されている全てのDSP (音場) レベルをメーカー調整値 (初期値) にもどすことができます。

1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 音場レベルが初期値にリセットされます。

お知らせ

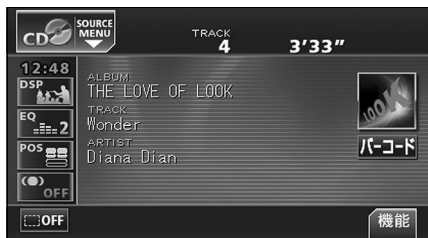
調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、レベルが0になると停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。

EQ (イコライザ) の調整

音質を設定する

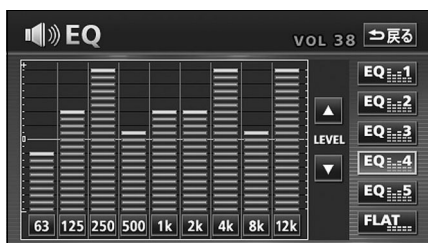
あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 EQ にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

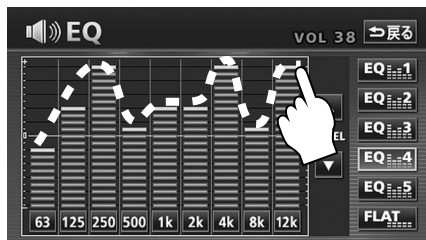


タッチスイッチ	音質モードの種類
EQ1	POPS に効果のあるカーブ
EQ2	ROCK に効果のあるカーブ
EQ3	JAZZ に効果のあるカーブ
EQ4	CLASSIC に効果のあるカーブ
EQ5	VOCAL に効果のあるカーブ
FLAT	EQ補正なし

EQ カーブの調整、記憶

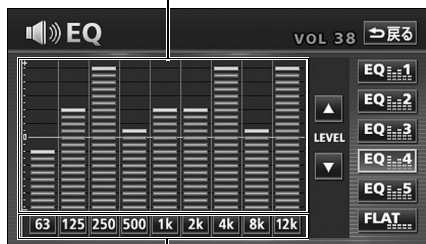
あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶させることができます。

1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面にタッチします。



- 微調整するときには、調整したい周波数帯域にタッチする、または周波数スイッチにタッチし、画面右の **▲**、**▼** にタッチします。

周波数帯域



周波数スイッチ

2 記憶させたいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



お知らせ

微調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。

音質の調整

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

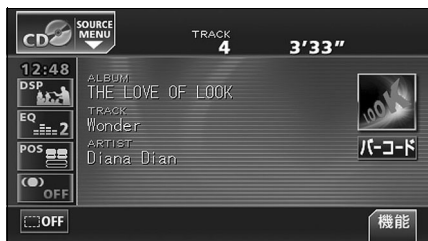
- 1 イコライザカーブを呼び出します。
 - 2 **FLAT** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。
- イコライザカーブが初期値にリセットされます。

POS (ポジショニングセレクター) の調整

乗車人数や乗車位置、お車のボデータイプ、ツイーターの有無に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

ポジションを設定する

1 POS にタッチします。



2 ポジション (シート) にタッチします。

- 設定されたポジションに黄色の枠が表示されます。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション (位置)	表示	ポジション (位置)
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場



お知らせ

POS (ポジショニングセレクター) は、Circle Surround II や FADER BALANCE (音量バランス) と同時に設定できません。

音質の調整

ボデータイプとツイーターを設定する

1 乗車人数や乗車位置に合わせてポジションを設定します。

- ポジションの設定については「**ポジションを設定する**」(前ページ)を参照してください。

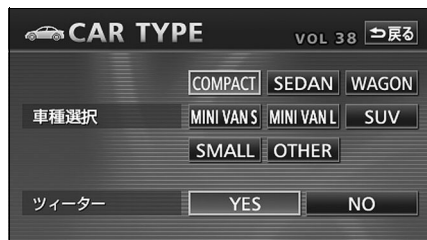
2 **CAR TYPE** にタッチします。

- ポジションが **OFF** に設定されているときは、タッチできません。



3 車型およびツイーターの有無を設定します。

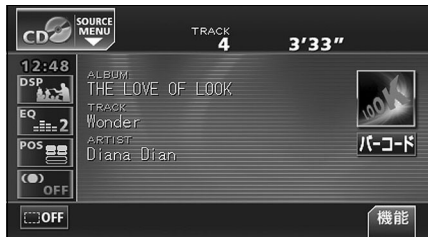
- ツイーター有りの場合は **YES**、無しの場合は **NO** に設定してください。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	モードの種類
COMPACT	コンパクト車
SEDAN	セダン
WAGON	ワゴン車
MINI VAN S	小さいミニバン
MINI VAN L	大きいミニバン
SUV	スポーツ・ユーティリティ・ビークル
SMALL	軽自動車
OTHER	その他

FADER BALANCE (音量バランス) の調整

1 POS にタッチします。

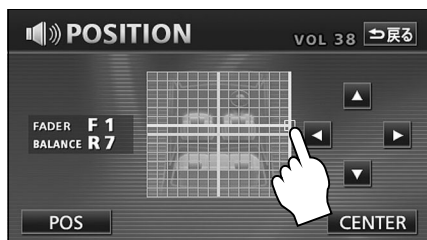


2 ポジション設定画面で、**FADER BALANCE** にタッチします。



3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、▲、▼、◀、または ▶ にタッチします。
- 調整レベルはF (フロント) 側、R (リア) 側、L (左) 側、R (右) 側各7段階です。
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- **CENTER** にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。(設定値が0になります。)



お知らせ

- FADER BALANCE (音量バランス) は、POS (ポジショニングセレクター) と同時に設定できません。
- 微調整時に ▲、▼、◀、または ▶ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

音質の調整

LOUDNESSの設定

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 情報メニュー画面から設定画面を表示させます。

- 「音質調整画面の表示」(46 ページ) を参照してください。

2 LOUDNESSの **ON**、または **OFF** にタッチします。

- 設定完了後、**設定完了** にタッチすると、設定が記憶されます。



お知らせ

LOUDNESSは、Circle Surround IIと同時に設定できません。

音質補正の設定（ハーモナイザー）

MP3/WMA圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。

1 情報メニュー画面から設定画面を表示させます。

- 「音質調整画面の表示」（46 ページ）を参照してください。

2 **次ページ** にタッチします。



3 ハーモナイザーの **HI**、**LOW**、または **OFF** にタッチします。

- **HI**：補正効果が大きい
- **LOW**：補正効果が小さい
- **OFF**：補正なし
- 設定完了後、**設定完了** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



お知らせ

ハーモナイザー機能は、MP3/WMA 音楽ディスクを再生しているときのみ効果があります。

音質の調整

音量補正の設定（車速連動音量）

走行時の車速に応じて音質や音量を自動的に補正し、走行時でも停車時と同じように音楽を聞くことができます。

1 情報メニュー画面から設定画面を表示させます。

- 「音質調整画面の表示」(46 ページ) を参照してください。

2 **次ページ** にタッチします。



3 車速連動音量の **HI**、**MID**、**LOW**、または **OFF** にタッチします。

- **LOW** → **MID** → **HI** の順で補正効果が大きくなります。
- **OFF** にタッチすると補正されません。
- 設定完了後、**設定完了** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



背景画の設定

オーディオ操作画面や情報画面をお好みの壁紙に切り替えることができます。

壁紙の設定

情報画面やオーディオ操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、あらかじめHDDやCD-R/RWに記録した画像データを取り込み、お気に入りの壁紙を背景画として表示することができます。

壁紙を切り替える

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 壁紙の **変更する** にタッチします。



4 **1** ~ **5**、**カスタム** のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- **カスタム** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。(画像データを書き換えていない場合、**カスタム** はタッチできません。)
- 画像の書き換えは次ページを参照してください。



5 **完了** にタッチします。

背景画の設定

画像データを書き換える

HDDやCD-R/RWに記録した画像データを壁紙として表示することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

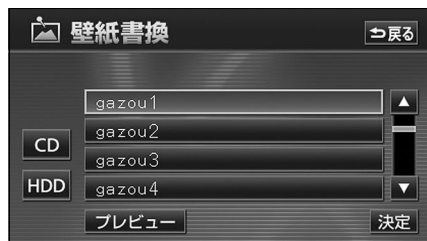
2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

3 壁紙の **変更する** にタッチします。

4 **カスタムの変更** にタッチします。

5 **CD**、または**HDD** にタッチします。

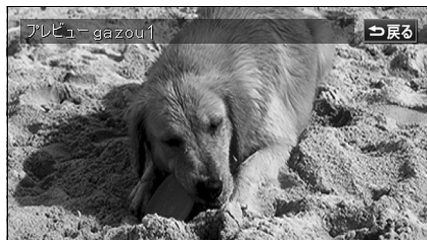
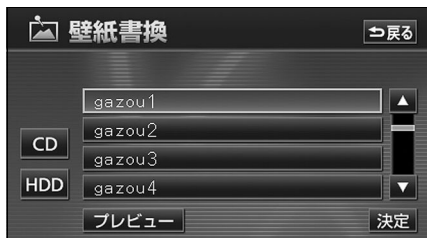


お知らせ

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。（「**画像データを保存する**」61 ページ参照）
- CD-R/RWから書き換える場合は、記録したCD-R/RWをディスク差し込み口に差し込んでください。
- MUSIC RACK に音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。「**MUSIC RACKへの録音**」（106 ページ参照）
- 複数のデータがある場合は、**▲**、**▼** にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。

6 壁紙に設定するデータにタッチします。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- **戻る** にタッチすると 直前の画面にもどります。



- プレビュー画面

7 **決定** にタッチします。

- 壁紙選択画面を表示します。

8 **カスタム** にタッチします。

- 設定した壁紙が表示されます。



10 **完了** にタッチします。

背景画の設定

使用できる画像データについて

パソコンなどからCD-R/RWに書き込まれた画像データが、壁紙で使用できます。

画像データは、下記の条件で書き込んでください。

- ディスクフォーマット：ISO9660規格（MODE1）
- 画像容量：1.5MB以下（1ファイル当たり）
- 推奨画像サイズ：約401万画素以下
- ファイル拡張子：.jpg（JPEG2000は非対応）
- 書き込み方式：シングルセッションのみ
- 表示ファイル数（枚数）：100まで
- ファイル名文字数：半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1
- 表示文字数：半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2
- 取り込み対象となる画像ファイル：ルートディレクトリのみ（最上階層のみ）

※1 半角数字、半角英字、（大文字）、記号“_”（アンダースコア）、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

※2 拡張子.jpgは表示されません。



お知らせ

- 画像サイズが横800×縦480dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横800×縦480dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

画像データを保存する

CD-R/RWに記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 画像データの **HDDへ保存** にタッチします。

- データ保存画面が表示されます。

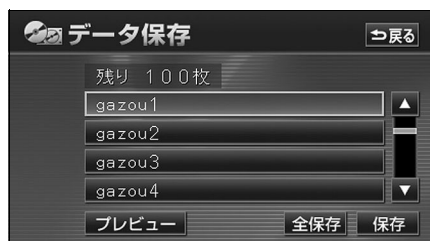


お知らせ

- CD-R/RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R/RWをディスク差し込み口に差し込んでください。画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- MUSIC RACKに音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。「MUSIC RACKへの録音」（106 ページ参照）

背景画の設定

- 4** 保存したい画像データにタッチします。



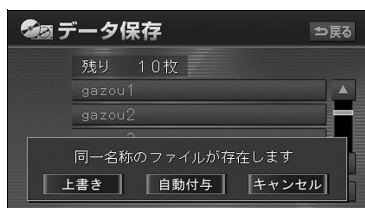
- 5** **保存** にタッチします。

- **全保存** にタッチすると、CD-R/RWに記録されている全ての画像データを保存します。
- 保存後、**戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。

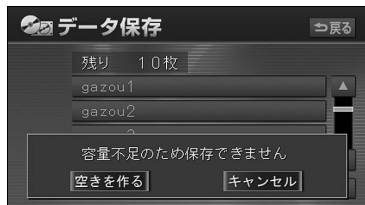


お知らせ

- すでに同じ名称のデータが存在すると、次の画面が表示されます。



- **上書き** にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
 - **自動付与** にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
(例) "AA1.jpg" がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の "AA1.jpg" には "01_AA1.jpg" と番号が自動で付けられ、保存されます。
 - **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。
 - **全保存** タッチ後に **キャンセル** にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。
- HDDの容量が足りない場合、次の画面が表示されます。



- **空きを作る** にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。(「画像データを消去する」次ページ参照)
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。

画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

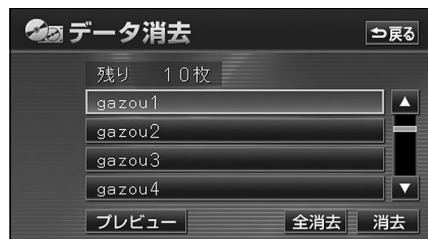
- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

3 画像データの **HDDから消去** にタッチします。

- データ消去画面が表示されます。



4 消去したい画像データにタッチします。



5 **消去** にタッチします。

- **全消去** にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。

6 **YES** にタッチします。

画面の調整・設定

オーディオ操作画面や、映像画面の画質を調整したり、操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくすることができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面や映像画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜映像画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

1 オーディオ操作画面、または映像画面で **画質** を“ピッ”と音がするまで押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

- 約20秒以上操作しなかったときも自動で完了し、表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

ライト点灯時に昼画表示するには

ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）を点灯すると、**昼画面** が表示されます。

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

- 再度、画面を表示させるには、**現在地** を押します。

画面の調整・設定

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

■色合い（映像画面時のみ）

1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

●操作画面、設定画面を表示している間は調整することができません。

■色の濃さ（映像画面時のみ）

1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

●操作画面、設定画面を表示している間は調整することができません。

■コントラスト

1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。


■明るさ

1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

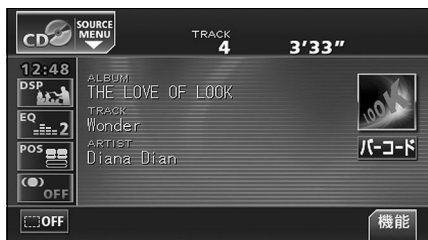
タッチスイッチの設定

画面スイッチの表示切り替えについて

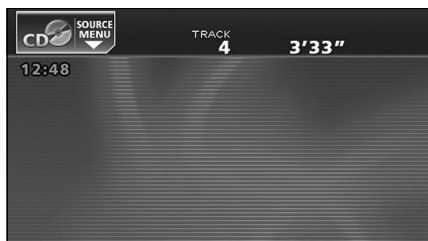
オーディオ操作画面や設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

1 オーディオ操作画面や設定画面で、にタッチします。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることができません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。



- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。




機能スイッチの表示について

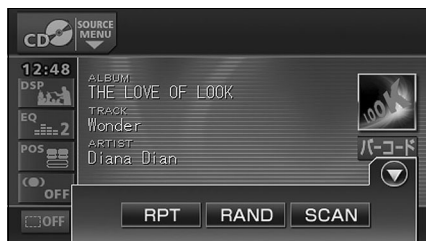
オーディオ操作画面やTV・ワンセグ設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

1 **機能** にタッチします。

- 機能スイッチが表示されます。
- 機能スイッチは、各オーディオによって異なります。



-  にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチが消えます。
- 機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。



画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 DVD・TV・VTR設定画面で、**ワイドモード** にタッチします。

- ワイドモード切り替え画面になります。
- **ワイドモード** は、下記の操作で表示させることができます。

DVD：操作画面で、**NEXT**、**設定** の順にタッチ

TV：操作画面で、**設定**、**機能** の順にタッチ

VTR：操作画面で、**設定** にタッチ

2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または **ワイド3** にタッチします。



●ワイドモード切り替え画面



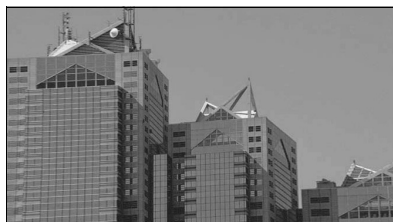
■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

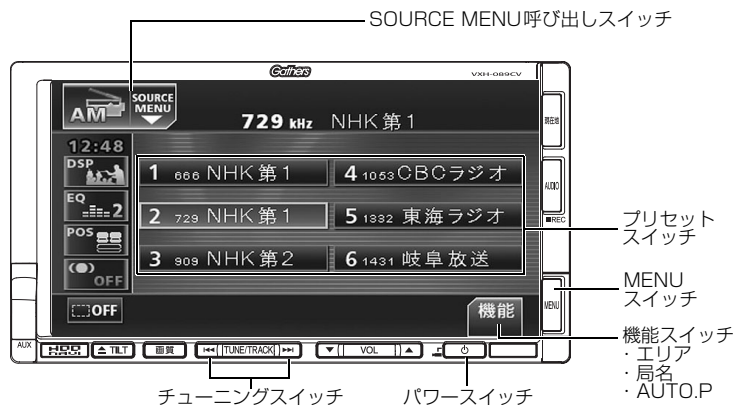
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

- ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

△注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

- オーディオのソースを切り替えます。
 - 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

- AMラジオを受信するときは **AM** に、FMラジオを受信するときは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

- ▶▶、または ◀◀ を押します。
 - ▶▶ (右側) : 1 ステップずつ上がる
 - ◀◀ (左側) : 1 ステップずつ下がる (1ステップ: AM 9kHz、FM 0.1MHz)

自動で選ぶ

- ▶▶、または ◀◀ を“ピツ”と音がするまで押します。
 - 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

- 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。
 - 放送局の記憶は「放送局を記憶する」(次ページ) を参照してください。



お知らせ

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

ラジオの使い方

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P.（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P.”、または“AREA.P.”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P.**、または **エリア**（次ページ参照）にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **機能** にタッチします。

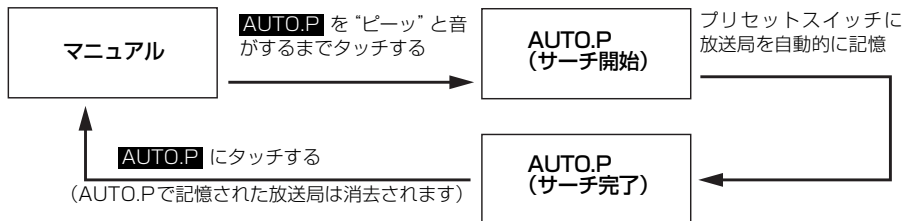
2 **AUTO.P.** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P. が点滅し、自動的に選局を始めます。“ピツピツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P.** にタッチすると、マニュアルで記憶した放送局に表示が切り替わります。

AUTO.P.について

AUTO.P.は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P.を使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P.を使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P.動作中または動作後に **AUTO.P.** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P.動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P.で記憶した放送局は消去されます。）AUTO.P.からマニュアルへの切り替えは下記になります。



お知らせ

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.P.での自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.P.スイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.P.スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

- 1 **機能** にタッチします。
- 2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



交通情報を聞く

- 1 **MENU** を押します。
 - オーディオメニュー画面が表示されないときは、**オーディオ** にタッチします。
- 2 **交通情報** にタッチします。
 - **交通情報** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。
 - あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。



周波数を記憶する

- 1 オーディオのソースを切り替えます。
 - 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。
- 2 **AM** にタッチします。
- 3 通常の選局、または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。
- 4 **MENU** を押します。
 - オーディオメニュー画面が表示されないときは、**オーディオ** にタッチします。

ラジオの使い方

5 **交通情報** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- **交通情報** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

局名スイッチについて

複数の放送局が同じ周波数を使って放送している地域では、重複している放送局を切り替えることができます。

- 重複している放送局がある場合、局名重複インジケータが表示されます。

1 **機能** にタッチします。


2 **局名** にタッチします。


- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

局名重複インジケータ



ラジオを止める

1  を押します。

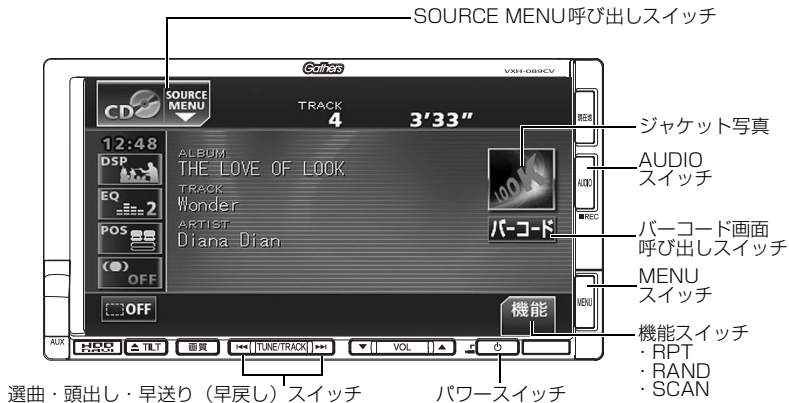
- もう一度  を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



お知らせ

- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 初期設定は1620kHzにセットしてあります。
- バッテリーなどを交換したときは1620kHzにもどります。

CD プレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

- MUSIC RACKは、デジタル録音モードの初期設定がAUTOに設定されているので、再生が始まると同時に自動で録音を開始します。**AUDIO** を1秒以上押しと録音を停止します。
- 録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。**「MUSIC RACKへの録音」** (102 ページ参照)

1 CDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

2 **DISC** にタッチします。

- 再生を始めます。



お知らせ



- CD-TEXTなど、タイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。ジャケット写真を表示している場合の表示文字数は半角28文字、全角14文字、ジャケット写真を表示していない場合の表示文字数は半角32文字、全角16文字です。収録タイトル文字数の多いCD-TEXTでは表示できない場合があります。
- CD-R/RWのCD-TEXTは表示できない場合があります。
- 再生している音楽CDにタイトルや曲名などが収録されていなくても、本機のハードディスクに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
- 録音中は、本機のデータベースに収録されている情報のみ表示することができます。(CD-TEXTは表示できません)
- 再生している音楽CDに該当するジャケット写真データが、本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。(但し表示が可能な期限内)

CD プレーヤーの使い方

聞きたい曲を選ぶ



聞きたい曲の頭出しができます。



1 、または  を押します。

-  (右側)：次曲を選ぶとき
-  (左側)：頭出し・前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側)：曲を進めるとき
 -  (左側)：曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい曲を探す

1 **機能** にタッチします。

2 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返し聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

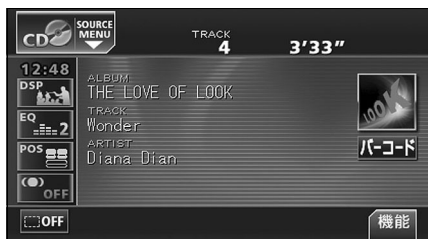
2 **RAND** にタッチします。

- 全曲でランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のアルバムに関連する携帯サイトへ接続することができます。

- 1 ジャケット写真が表示されているときに、**バーコード** にタッチします。



- 2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- **サイズ変更** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



お知らせ


- 2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- サイト接続にかかる通信費は、お客様負担となります。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。




アドバイス

2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。

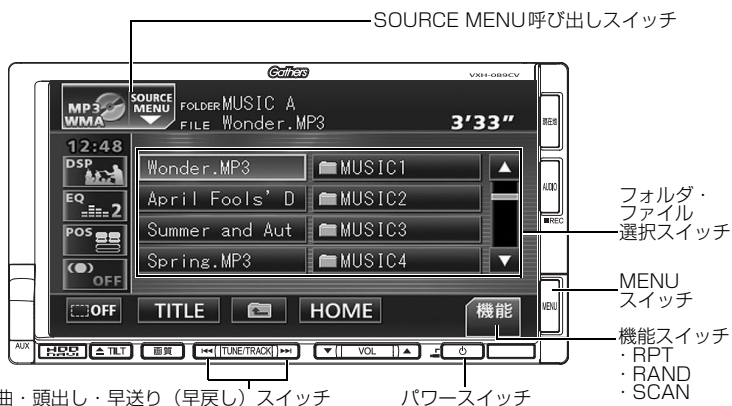
CDを止める

- 1  を押します。

- もう一度  を押すと再生が再開されません。
- MUSIC RACKへ録音中に、CDを止めても録音は継続されます。録音を停止する場合は、**AUDIO** を1秒以上押します。

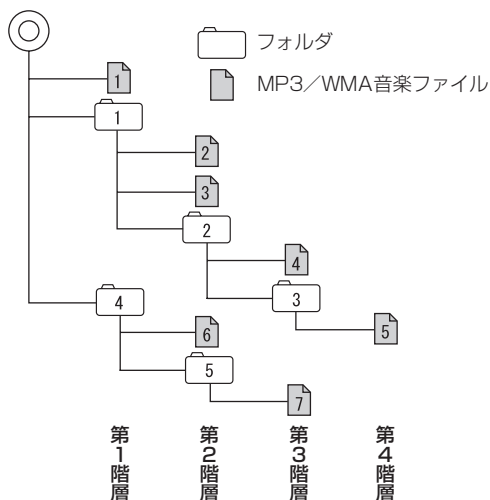
MP3/WMA プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



〈MP3/WMA ファイル作成例〉

ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例をもとに説明しています。



お知らせ

- 音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角 12 文字まで、ファイル名は半角 14 文字まで表示できます。**TITLE** にタッチすると、MP3 は半角文字では最大 30 文字、全角文字では最大 15 文字まで表示できます。WMA は半角、全角とも最大 15 文字まで表示できます。〔音楽ファイル情報などを表示する〕79 ページ参照)
- DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムの WMA ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) された WMA ファイルは再生できません。








MP3/WMA を聞く

ディスク差し込み口にMP3/WMAファイルが記録されたCD-R/RWを差し込むと、再生を始めます。

1 CD-R/RW が差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

2 **DISC** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、→→→→→→ の順に再生します。(前ページ参照)
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語 (SJISコード) の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ・ファイル選択スイッチのフォルダ名にタッチします。



- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ



1 音楽ファイル名にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが 9 個以上ある場合は、、 にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません。)

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。








1 、または  を押します。

-  (右側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき
-  (左側) : 頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき



お知らせ

MP3/WMAファイル作成例については前ページを参照してください。



画面に 、、 の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに  にタッチすると、、、 の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

早送り・早戻しする


いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、または  を“ピッ”と音がするまで長く押します。

-  (右側) : 曲を進めるとき
 -  (左側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1  にタッチします。

- 表示している階層の1つ上のフォルダ、ファイルを表示します。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

1 **HOME** にタッチします。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 **機能** にタッチします。

2 **SCAN** にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返し聞いて聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。



お知らせ

MP3/WMAファイル作成例については76ページを参照してください。

第3階層の **4** を再生中、画面に **2**、**3**、**2** の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに **HOME** にタッチすると、**4**、**3** の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- 現在再生中のフォルダを含め、その階層以下の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。


音楽ファイル情報などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとフォルダ・ファイル選択スイッチに表示が切り替わります。

MP3/WMAを止める

1  を押します。

- もう一度  を押すと再生が再開されません。



お知らせ

再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。WMAは半角、全角とも最大15文字です。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio レイヤ3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG Audio レイヤ3 (= MPEG1 Audio Layer III、MPEG2 Audio Layer III、MPEG2.5 Audio Layer III)
- 対応サンプリング周波数 : 8、11.025、12、16、22.06、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
※VBRに対応しています。
※フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : モノラル、ステレオ、ジョイント、デュアル

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格 : WMA Ver.9 Standard decoder Class 3に準拠
- 対応サンプリング周波数 : 22.05、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 20、22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)
※VBRに対応しています。
※可逆圧縮 (ロスレス圧縮) には対応していません。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMAファイルには、ID3タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力ことができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

■ ID3タグ/WMAタグ

		MP3		WMA
		Ver1.0	Ver1.1	Ver9
入力できる項目	TITLE	全角15文字 半角30文字		全角15文字 半角15文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode (UTF-16 BE BOMなし))	

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R およびCD-RW です。DVD+RおよびDVD+RWに記録されたMP3/WMAは再生できません。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

- ディスクフォーマット：CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2 (Form1)
- ファイルフォーマット

■ ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名 (最大文字数)	半角8文字	半角12文字 全角6文字
ファイル名 (最大文字数)	8.3形式	半角14文字 全角7文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード)	

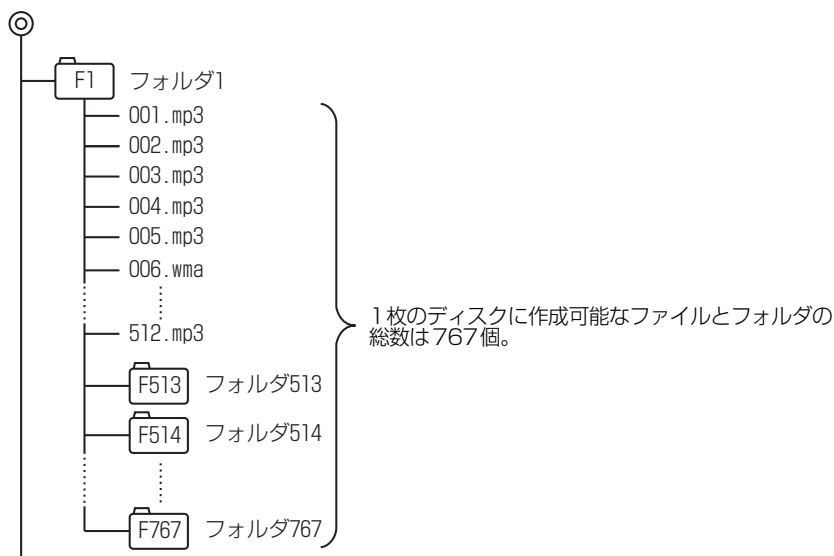
■ 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名 (最大文字数)	半角12文字 全角6文字	
ファイル名 (最大文字数)	半角14文字 全角7文字	
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)	

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数：767個
- 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：255個

MP3/WMA プレーヤーの使い方

< MP3/WMA対応CDの構造例 >



お知らせ

音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。**TITLE** にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。(「音楽ファイル情報などを表示する」79ページ参照)

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子"mp3"/"wma"が付いたものだけです。MP3/WMA ファイルには、"mp3"/"wma"の拡張子を付けて保存してください。拡張子名"mp3"/"wma"は大文字でも小文字でもかまいません。

CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。(消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。)
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。(例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません。)
- CD-R、CD-RW は、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。(設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください)

MP3/WMAの再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMA ファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMAデータを読み込み中です”が表示されます。(最大10分程度)なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3/WMAファイルを数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に表示
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合はMP3を優先して表示

△ 注意

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けないでください。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。このとき、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2、ROMEO、JOLIETという記録フォーマットに設定して書き込みます。



お知らせ

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

MUSIC RACK をお使いになる前に

MUSIC RACK の概要

MUSIC RACK は CD やラジオなどで再生されている音楽・音声を ATRAC3 (アトラックスリー) 圧縮技術で圧縮し、録音することができます。録音には、CD を録音すると、「Gracenote 音楽認識サービス」により、アルバム名やアーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト (プレイリスト) を自動で作成するデジタル録音*と、CD 以外のオーディオソースから録音し、録音したオーディオソースのプレイリストを自動で作成するアナログ録音があります。

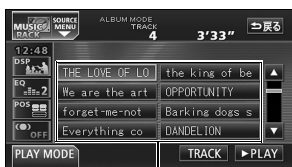
*…該当する名称が検索できなかった場合は、アナログ録音と同じ条件でプレイリストを作成します。

MUSIC RACK の構成について

MUSIC RACK は、録音された音楽・音声を 5 種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



プレイモード



プレイリスト

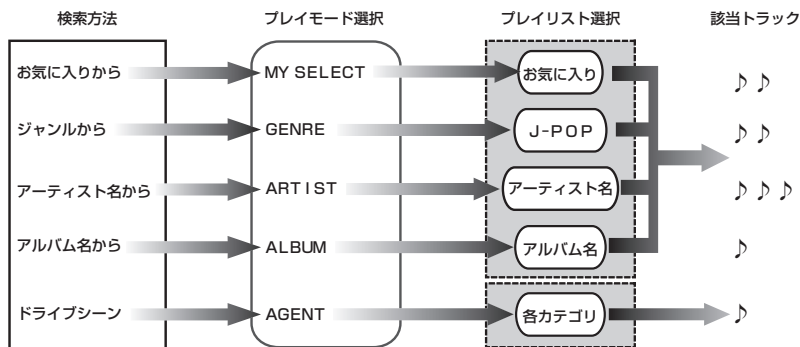


トラック

録音した音楽 (トラック) を 5 つの再生モード (アルバム、アーティストやジャンルなど) で分けています。

各プレイモード (再生モード) ごとに録音した音楽 (トラック) をそれぞれの種類別に分けています。

録音した音楽、音声データのタイトル



MUSIC RACK をお使いになる前に

プレイモード・プレイリストについて

本機は、録音した音楽を種類や録音条件によってグループ分けして、MUSIC RACKに保存します。

録音した音楽は、5種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別、カテゴリ別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
ALBUM	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイトリング機能でアルバム名が付与されなかった場合はオーディオソース／ALBUM／番号がプレイリスト名になります。 ● アルバム名から選曲することができます。
MY SELECT	<ul style="list-style-type: none"> ● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。
ARTIST	<ul style="list-style-type: none"> ● オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ● 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 ● アーティスト名から選曲することができます。また、同じアーティストのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
GENRE	<ul style="list-style-type: none"> ● オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。 ● ジャンルから選曲することができます。また、同じジャンルのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
AGENT	<ul style="list-style-type: none"> ● プレイリストはありません。 ● オートタイトリング機能で、録音された曲のカテゴリ（曲イメージ・シーン・年代・タイアップ／イベント）が付与された場合、カテゴリ別で選曲することができます。



お知らせ

MUSIC RACKには、最大999個^{*}のプレイリストを作成ことができ、1つのプレイリストには最大99曲^{*}までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大およそ3000曲^{*}です。

※…録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

データベースについて

本機は、CDアルバム（アルバム/シングルディスク）をMUSIC RACKにデジタル録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、カテゴリ、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースおよびメディアクリックデータベースを使用しています。

Gracenote メディアデータベースについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®]により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください: www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ: Copyright© 2000 - 2007 Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000 - 2007 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください:
www.gracenote.com/corporate



お知らせ

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を 100% 保証するものではありません。

MUSIC RACK をお使いになる前に

メディアクリックデータベース (MCDB) について

- MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- MCDBのロゴは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- メディアクリックは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDB

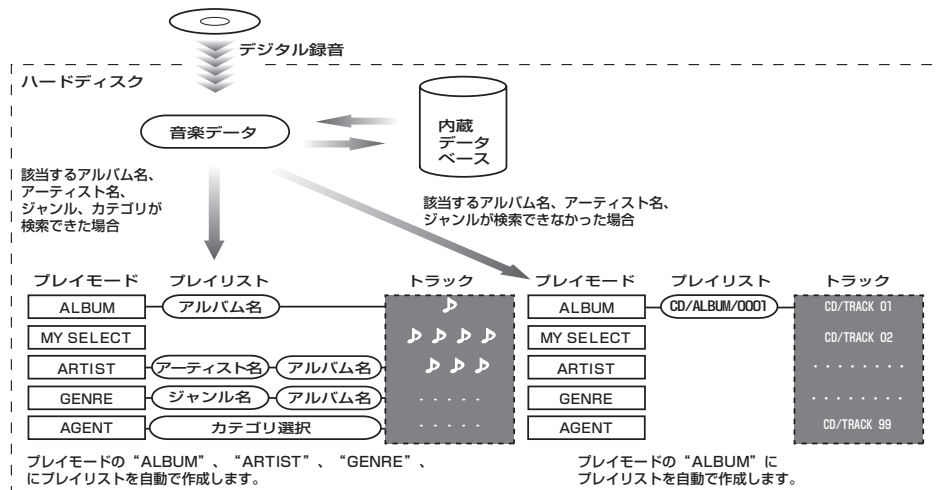
- 本製品には、株式会社メディアクリックが提供する音楽情報に関するデータベースであるMCDBが収録されています。MCDBは株式会社メディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースであり、MCDBサービスはMCDBを使用して音楽に関する情報を提供するサービスです。
この製品を使用してMCDBサービスを利用する際は、以下の項目について同意したものとみなされます。
- MCDBはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。
- MCDBの内容は、お客様の趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBは個人の使用のみに使うこと、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- MCDBへのアクセスは、商品が提供する機能のみでアクセスすることができます。本製品が提供する機能以外でのMCDBへのアクセスを禁止します。
- 本製品に収録されたMCDBは、第三者に譲渡・コピー・転送する事を禁止します。
- お客様が上記同意事項に違反した場合には、弊社はMCDBサービスの利用を終了させていただきます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法関連諸法規、関連国際条約等で保護されています。
- 収録されているMCDBは2006年12月までのデータです。

オートタイトリング機能について

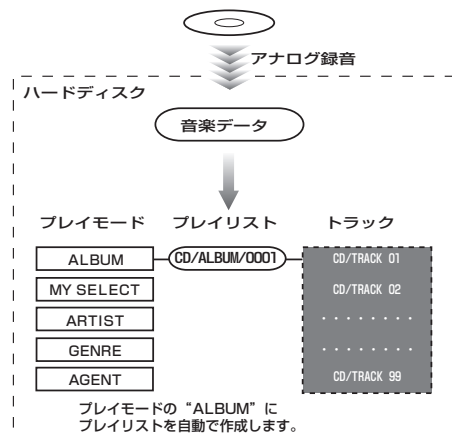
本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

※…オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。

デジタル録音



アナログ録音



お知らせ

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかったものや、アナログ録音時には下記の情報を付与し、下記のプレイモードにプレイリストを作成します。

アルバムプレイモード…

ソース / ALBUM / 4桁の番号※

トラックプレイモード…

ソース / TRACK 2桁の番号※

※…日付が変わった場合、番号を1から順に付与する。

MUSIC RACK をお使いになる前に

データベース情報の表示について

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョン情報を見ることができ
ます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 データベースのバージョンの
バージョン情報 にタッチします。



4 **CDDDB**、または **MCDB** にタッチし
ます。

- データベース情報を表示します。



お知らせ

最大60個まで履歴を残すことができます。60個を超える場合、最も古いものから順に削除します。

データベースの更新について

本機のデータベース（Gracenote メディアデータベース、およびメディアクリックデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。Gracenote メディアデータベースやメディアクリックデータベースの更新時期やデータの提供については、販売店にご相談ください。

Gracenote メディアデータベースを更新する

更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でおこなってください。

1 AUDIOをOFFにします。

2 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

3 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



4 更新データの書き込まれたCD-R/RWを差し込みます。

5 **CDでの更新** にタッチします。

- データベースの更新を開始します。
- 更新中画面を表示します。
- 更新中は本機の操作をしないでください。
- 更新が完了すると、更新中のメッセージが消えます。



6 CD-R/RWを本機から取り出します。

7 お車のエンジンを切り、約15秒程度待ちます。

8 再度お車のエンジンをかけ、データベース情報を表示して更新情報が追加されているか確認します。

- 「データベース情報の表示について」（前ページを参照してください。）

お知らせ

- 更新中は音声はOFFになります。
- 一度付与されたタイトル情報は、Gracenoteメディアデータベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動では変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、「**タイトル情報の再取得**」（124ページ）を参照してください。
- 更新にかかる時間はバージョンにより異なります。
- 本機に収録されているタイトル情報のデータベースは、Gracenote 音楽認識サービスのデータベース（2006年12月現在）です。

MUSIC RACK をお使いになる前に

メディアクリックのデータベースを更新する

- 1 AUDIOをOFFにします。
- 2 **MENU** を押します。
 - 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。
- 3 **データ管理** にタッチします。
 - **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。
- 4 更新データの書き込まれたCD-R/RWを差し込みます。
- 5 **CDでの更新** にタッチします。
 - データベースの更新を開始します。



お知らせ

本機に収録されているタイトル情報のデータベースは、メディアクリックのデータベース(2006年12月現在)です。

タイトル情報の受信について

本機は、JFN系列の放送局で放送されている「FM de TITLE」※（エフエム デ タイトル）、および「FM de TITLE II」※（エフエム デ タイトル II）を受信することができます。受信できる内容と機能は下記になります。

	FM de TITLE	FM de TITLE II
受信できる内容	CDタイトル	新譜情報（ジャケット写真）
制限	なし	一部表示期限あり
保存件数	制限なし	制限なし
受信の通知	CD情報インジケータ	新譜情報受信メッセージ および新譜情報インジケータ
機能	音楽CDや音楽データ再生時、 該当するCDタイトルを表示	音楽CDや音楽データ再生時、 該当するジャケット写真を表示

※：「FM de TITLE」、「FM de TITLE II」は、FM多重放送を使い、毎週50タイトル（最大）のCD楽曲データベース（CDタイトルや新譜情報）を無料で配信するサービスです。

- FM de TITLEが受信できる放送局については、「[FM de TITLEサービス放送局について](#)」176ページを参照してください。

タイトル情報の受信について

「[タイトル情報の受信](#)」（次ページ）のFM多重チューナー設定をVICSに設定している場合、下記のモードに切り替えるとタイトル情報が受信できなくなります。

- AMラジオ、FMラジオ（JFN系列を除く）に切り替えた場合
- TVに切り替えた場合
- オーディオOFFの場合

受信したタイトル情報は「[タイトル情報の表示](#)」（次ページ）で確認することができます。画面には、最大1000個表示することができます。1000個を超える場合は、古いものから自動で削除します。

タイトル情報の保存について

受信されたタイトル情報は、自動で本機のハードディスクに保存されますが、下記の場合、一時保存できなくなります。

- MUSIC RACKで再生、録音、または編集作業を行った場合
- 壁紙を書き換えた場合
- CD-R/RWでデータベースを更新した場合
- ハードディスクに画像データを保存した場合
- 販売店にて書き換え作業を行った場合

ラジオ、TV、CD等のモードに切り替えると、自動でハードディスクへの保存が可能になります。

MUSIC RACK をお使いになる前に

タイトル情報の受信

タイトル情報を配信している放送局を自動で選局し、受信します。

1 **MENU** を押します。

- ナビメニュー画面が表示されないときは、**ナビ** にタッチします。

2 **VICS** にタッチします。



3 FM多重チューナー設定の**CD情報** にタッチします。

- FM de TITLEは一度に配信する情報量が決まっています。一度受信・保存が完了し、次回の配信まで受信するデータが無い場合、自動でVICS情報の受信に切り替わります。但し、エンジンスイッチをI (ACC) またはII (ON) にするたびに、FM de TITLEの放送を受信します。



お知らせ

- FM de TITLE/FM de TITLE IIで配信された情報は内容を100%保証するものではありません。製造時期や製造場所などにより、情報に違いが生じるため、再生している音楽CDやデータと内容が異なる場合や、表示できない場合があります。
- CDタイトル表示画面で表示される文字数は、アーティスト名、タイトル名、発売日合わせて半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。

タイトル情報の表示

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

CDタイトルを表示する

ハードディスクに保存されたCDタイトルを表示します。保存されたCDタイトルの表示が可能になった場合、画面にCD情報インジケータを表示します。

CD情報インジケータ



1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **タイトルチェック** にタッチします。

- タイトルリスト画面を表示します。



3 表示したいタイトルにタッチします。

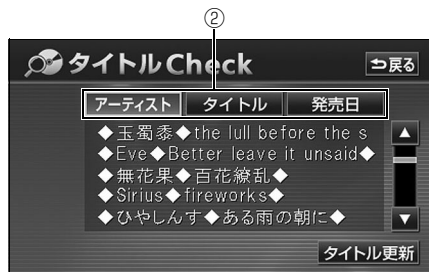
- CDタイトル表示画面を表示します。
- 1つのタイトルの中に、最大50個のCDタイトルが入っています。



■ CDタイトル画面の見方



● タイトルリスト画面



● CDタイトル表示画面

- ① 放送局側が最初に配信した日付
受信した順に、上から新しいタイトルを表示しています。
- ② CDタイトルの並び替え
CDタイトルを、アーティスト、曲のタイトル、発売日で並び替えることができます。

CD情報インジケータの表示を設定する

CDタイトルの表示が可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFを設定することができます。

CDタイトルを受信した場合は、インジケータ(📻)の表示がONの場合でもインジケータが表示されてから約6秒以上経過すると表示が消えます。

- CDタイトルを受信した場合は📻、新譜情報を受信した場合はNEWが表示されます。(新譜情報については次ページを参照してください。)

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 設定 にタッチします。

- 設定 が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

3 CD情報インジケータの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4 設定完了 にタッチします。

MUSIC RACK をお使いになる前に

新譜情報を表示する

ハードディスクに保存された新譜情報（ジャケット写真）を表示します。新譜情報は、情報画面から確認する方法と、新譜情報受信メッセージ画面から確認する方法があります。画面の見方については前ページを参照ください。

■ 情報メニュー画面から確認する

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 新譜情報 にタッチします。

- 新譜情報リスト画面を表示します。
- 未読の新譜情報があると、“NEW” を表示します。



3 表示したい新譜情報にタッチします。

- タイトルリスト画面を表示します。
- 1つの新譜情報の中に、最大20個のタイトルリストが入っています。
- **一覧** にタッチすると、配信日別のタイトルリスト画面を表示します。



4 表示したいタイトルにタッチします。

- CDタイトル表示画面を表示します。
- 1つのタイトルの中に、最大50個のタイトル情報が入っています。



5 表示したいCDタイトルにタッチします。

- 新譜情報画面を表示します。（走行中は操作・表示できません。）



■新譜情報受信メッセージ画面から確認する

新譜情報を受信、確認が可能になった場合、自動で新譜情報受信メッセージ画面を表示します。



1 見る にタッチします。

- 新譜情報リスト画面を表示します。

携帯電話で新譜情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、新譜情報に関連する携帯サイトへ接続することができます。

1 ジャケット表示画面で、**バーコード** にタッチします。



2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- **サイズ変更** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



お知らせ

- 2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- サイト接続にかかる通信費は、お客様負担となります。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。



アドバイス

2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。

MUSIC RACK をお使いになる前に

新譜情報受信メッセージの表示を設定する

新譜情報の表示が可能になったことをお知らせするメッセージ画面の表示ON/OFFを設定することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

3 新譜情報受信メッセージの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。



お知らせ

- 新譜情報（ジャケット写真）には表示できる有効期限（一部）があります。有効期限の過ぎた新譜情報は該当する音楽CDを再生しても表示することができません。但し、有効期限内に一度CDを差し込むと、音楽データ再生時、新譜情報を表示することができます。
- 新譜情報（ジャケット写真）の表示サイズは横56×縦56dotです。
- 受信した新譜情報（ジャケット写真）が正式版でない場合や不備があった場合、表示されません。

タイトル情報の更新

「タイトル情報の保存について」(93 ページ) で、保存されなかった場合にタイトル情報を更新することができます。

CDタイトルを更新する

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **タイトルチェック** にタッチします。

3 **タイトル更新** にタッチします。

- CDタイトル更新画面が表示されます。
- 更新中は音量レベル調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、タイトルリスト画面にもどります。



●CDタイトル更新画面

新譜情報を更新する

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **新譜情報** にタッチします。

3 **更新** にタッチします。

- 新譜情報更新画面が表示されます。
- 更新中は音量レベル調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、新譜情報リスト画面にもどります。



●新譜情報更新画面

MUSIC RACK をお使いになる前に

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



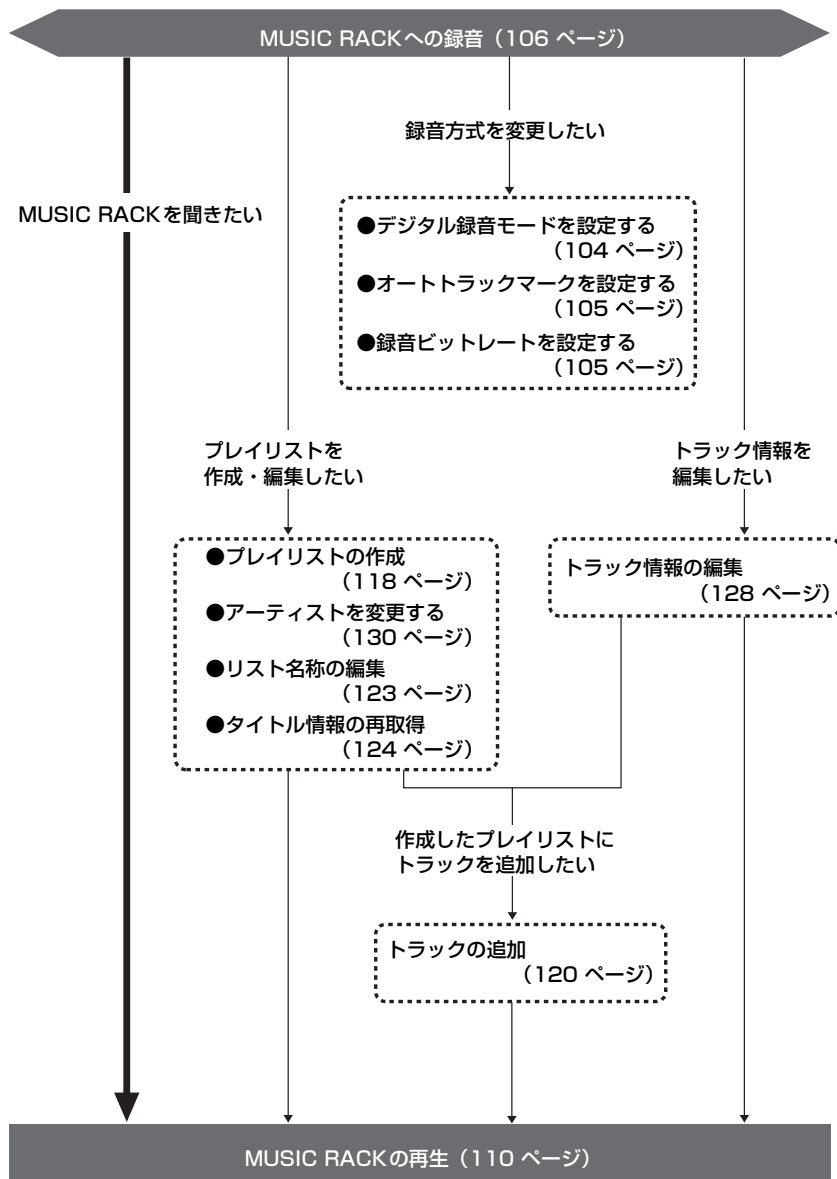
3 HDDの容量の **確認** にタッチします。

- ハードディスクの容量を表示します。



操作の流れについて

MUSIC RACKへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC RACKの聞き方などの操作を説明します。



MUSIC RACK への録音

MUSIC RACK への録音について


- 本機は、内蔵のCDプレーヤーで再生している音楽や、ラジオ、TV（音声）、VTR（音声）で放送している・再生している音楽・音声をMUSIC RACKに録音することができます。
- MP3/WMA ファイル、ワンセグ、DVD、AUXから録音することはできません。

録音できるソースと録音方式について

MUSIC RACKは、録音できるソースにより、録音方式が異なります。

録音方式	録音可能なソース
デジタル録音（4倍速録音）	CDプレーヤー（デジタル録音可能なCDのみ）
アナログ録音（等倍速録音）	FM、AM、TV（音声）、VTR（音声）、CDプレーヤー（デジタル録音禁止されているCDの場合のみ）

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- エンジンスイッチをⅠ（ACC）にして録音しているときに、エンジンスイッチをⅡ（ON）にすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声は停止します。
 - アナログ録音開始時および終了時は約2秒間音楽や音声は聞こえなくなります。
 - 音楽CDなどをデジタル録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約2秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。
- CDを録音開始後、録音された音を出力します。録音が完了した後、エンジンスイッチを0（OFF）にしたり、ソースを切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して出力します。
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音ができません。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面にを表示します。
- 音飛びなどで、再度録音を開始する場合、画面に“R”を表示します。

デジタル録音（4倍速録音）について

- 本機のデジタル録音は、通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することができます。また、裏録音を行っているため、録音中に他のソースに切り替えることができます。詳しくは106ページを参照してください。
- 録音中の再生音は、MUSIC RACKに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。（ソースのアイコンの表示が替わります）
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、原則として下記のCDはデジタル録音方式で録音することができません。
 - ・音楽CDなどからデジタル録音したCD-RやCD-RW*
 - ・録音が禁止されている音楽CD*
- ※ **AUDIO** を1秒以上押して、アナログ録音方式として録音することは可能です。
- 下記の場合、録音途中のトラック（曲）を削除します。
 - ・録音中にエンジンスイッチをO（OFF）にした場合
 - ・録音中にCDを排出した場合
- 下記の場合、自動で録音を再開します。
 - ・エンジンスイッチをII（ON）にした場合※¹
 - ・CDを挿入した場合※²
- ※¹ 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：再生途中だったトラック（曲）の頭から再生を開始
エンジンスイッチをO（OFF）にする直前に録音中だった場合のみ、エンジンスイッチをII（ON）にすると録音を開始
- ※² 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：挿入したCDの最初から再生を開始
- 下記の場合、録音を継続します。
 - ・録音中にソースを切り替えた場合
 - ・録音中にオーディオをOFFにした場合
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止した場合は、その後録音が完了した曲のみ再生することができます。それ以外の曲を再生する場合は、一度ソースを切り替えた後、再度同じCDを再生してください。

アナログ録音（等倍速録音）について

- アナログ録音は、5時間以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度 **AUDIO** を1秒以上押して録音してください。
- アナログ録音中にエンジンスイッチをO（OFF）にした場合、録音を中止します。また、録音中、ソースを切り替えると録音は中止されます。

MUSIC RACK への録音

録音方式の設定

MUSIC RACK の録音方式を切り替えることができます。

- 1 MUSIC RACK 操作画面で **機能**、**設定** の順にタッチします。



● MUSIC RACK 操作画面

- MUSIC RACK 設定画面が表示されます。
- MUSIC RACK 設定画面から下記の設定を切り替えることができます。



● MUSIC RACK 設定画面

項目	機能	ページ
デジタル録音モード	デジタル録音時のオート、セレクトの設定	下記
オートトラックマーク	録音したトラック（曲）の区切り設定	次ページ
録音ビットレート	録音時の音質切り替え	次ページ
表示並び替え	プレイリスト・トラックの表示・再生順の並び替え	126

デジタル録音モードを設定する

デジタル録音する場合に、CDの差し込みと同時に録音を開始する **AUTO**、または **AUDIO** を1秒以上押し、録音したいトラック（曲）を選択する **SELECT** に切り替えることができます。

- 1 MUSIC RACK 操作画面で **機能**、**設定** の順にタッチします。

- 2 デジタル録音モードの **AUTO**、または **SELECT** にタッチします。

- **AUTO** …… CDを差し込むと、自動で録音を開始。
- **SELECT** …… **AUDIO** を1秒以上押し、トラックを選択後、録音を開始。



オートトラックマークを設定する

アナログ録音方式で録音する場合に、トラック（曲など）とトラックの間（区切り位置）を設定します。

1 MUSIC RACK 操作画面で、**機能**、**設定** の順にタッチします。

2 オートトラックマークの **ON**、または **OFF** にタッチします。

- **ON** …… 曲と曲の間にある無音部分を区切り位置として、トラックを設定する。
CD以外のソースを録音する場合は、録音を終了した時点でトラックを設定する。
- **OFF** …… 録音開始から録音終了までを1トラックとして設定する。



録音ビットレートを設定する

録音するときの音質を選ぶことができます。録音ビットレートの数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

1 MUSIC RACK 操作画面で、**機能**、**設定** の順にタッチします。

2 録音ビットレートの **132k**、**105k**、または **66k** にタッチします。

- デジタル録音時は、132k に固定されます。



お知らせ

オートトラックマークがONの場合でもトラックを分割できないことがあります。

MUSIC RACK への録音





MUSIC RACK への録音

本機は、CDプレーヤーからMUSIC RACKへ録音するデジタル録音と、CDプレーヤー以外のソースからMUSIC RACKへ録音するアナログ録音があります。

デジタル録音は、CDの挿入と同時に自動で録音を開始するオート録音と **AUDIO** スイッチを押して、録音したい曲を選んでから録音を開始するセレクト録音があります。

録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。(次ページ参照)

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

録音の種類	ソース (音声モード)	使用できないスイッチ	
		タッチスイッチ	パネルスイッチ
デジタル録音	CDプレーヤー	RPT RAND SCAN	 ※3
	MUSIC RACK	RPT RAND SCAN PLAYLIST RPT PLAYLIST RAND PLAYLIST SCAN PLAY MODE ※2 AGENT 設定 編集	 ※4
	CDプレーヤー以外※1	制約なし	制約なし
アナログ録音	AM、FM、 CDプレーヤー、 TV、VTR	RPT RAND SCAN DSP EQ  各プリセットスイッチ エリア AUTO.P   8画面 主/副 標準 ワイド1 ワイド2 ワイド3	

※1 …デジタル録音中に、ソースをラジオやTVに切り替えた場合。

※2 …プレイモードのアルバムは操作可能です。

※3 …録音が完了した曲の前曲・次曲の切り替えは可能です。

※4 …再生しているプレイリスト内の前曲・次曲の切り替えは可能です。

CDを再生しながら自動で録音する

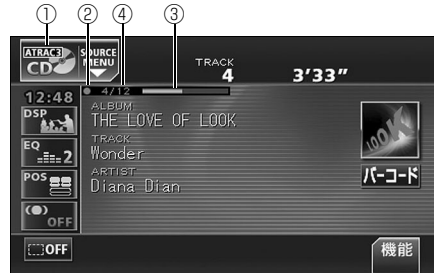
CDを差し込むと、4倍速で録音します。

1 CDを差し込みます。

- 自動で録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。（録音が完了している曲のみ）
- 録音を途中で停止する場合は、**AUDIO** を1秒以上押します。



■ 録音画面の見方



- ① **SOURCE MENU**呼び出しスイッチ
録音中はスイッチの表示が切り替わります。
- ② **録音マーク**
録音中に表示されます。
- ③ **録音進捗バー**
録音の進捗をバーで表示します。
- ④ **録音トラック数確認マーク**
 - デジタルオート録音の場合
録音が完了したトラック数/音楽CDの全曲数
 - デジタルセレクト録音の場合
録音が完了したトラック数/録音の対象になっている曲数

お知らせ

- 録音中の再生音は、MUSIC RACKに録音された音（ATRAC3で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- コピー許可されていないCD-R/RW や、CD プレーヤー以外*のソースから MUSIC RACKに録音する場合はアナログ録音となり、手動操作でのみ録音することができます。
※ MP3/WMAは録音できません。デジタル録音が禁止されている音楽CDはアナログ録音のみ可能です。
- すでにCDが差し込まれているときに、ソースをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。**AUDIO** を1秒以上押して録音を始めてください。（「CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する」次ページ参照）
- お好みの曲から録音を開始したい場合は、「デジタル録音モードを設定する」（104ページ参照）で録音モードを **SELECT** に設定してください。

MUSIC RACK への録音

CDの中から好みのトラック(曲)を録音する

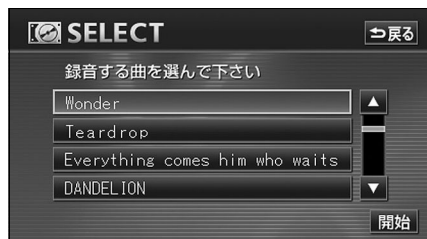
好みのトラック(曲)を選び、録音(4倍速)を開始します。

1 CDを再生中に **AUDIO** を1秒以上押します。

2 録音したいトラック(曲)にタッチします。



3 **開始** にタッチします。



- 選んだトラック(曲)の再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速(通常の時速)で音楽が出力されます。
- 選んだトラック(曲)の録音が完了すると、自動で録音を停止します。選んだトラック(曲)の再生は継続されます。(録音が完了した曲のみ)
- 録音を途中で停止する場合は、**AUDIO** を1秒以上押します。
- 録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。(前ページ参照)



お知らせ

- 録音中の再生音は、MUSIC RACKに録音された音(ATRAC3で圧縮された音声)のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- すでに録音が完了しているトラック(曲)は選べません。
- CDを差し込み、再生と同時に録音を開始する場合は、「デジタル録音モードを設定する」(104ページ参照)で録音モードを **AUTO** に設定してください。

CDプレーヤー以外のソースから録音する

ラジオ、TV、VTRを再生中、好みのタイミングで録音を開始します。

1 録音するソースに切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

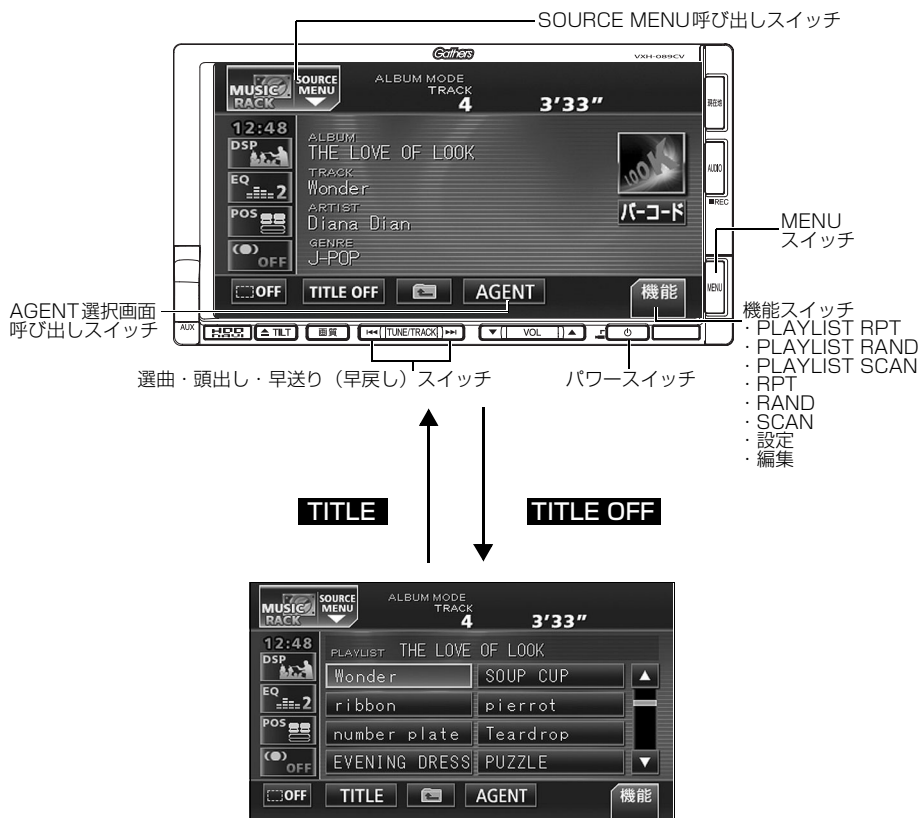
2 **AUDIO** を1秒以上押します。

- MUSIC RACKへの録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、**AUDIO** を1秒以上押します。
- 録音中は録音マークを表示します。(107 ページ)



MUSIC RACK の使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



MUSIC RACK を聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

2 **MUSIC RACK** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 前回、MUSIC RACKを再生していたときに、最後に聞いていたトラック(曲)の停止したところから再生を始めます。



お知らせ

MUSIC RACK に記録されているプレイリスト名やトラック名などを表示することができます。詳しくは、「トラック(曲)情報などを表示する」(117 ページ)を参照してください。

表示・再生について

MUSIC RACKに保存されている複数のトラック（曲）をアルバム名やジャンルなどグループ別を選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、プレイリストやトラックの表示・再生の順番は違います。

- プレイリストの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
ALBUM	自動で作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
MY SELECT	オリジナルで作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
ARTIST	自動で作成したリストをShift-JIS順に表示・再生
GENRE	あらかじめ設定されている順に表示・再生
AGENT	—

- トラックの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	トラックの表示・再生順
ALBUM	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生
MY SELECT	プレイリストに追加した順に表示・再生
ARTIST	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生*
GENRE	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生*
AGENT	—



*同じARTIST/GENREの全トラックの再生が終了すると、次のARTIST/GENREに切り替わります。

再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

選択されているプレイリスト内でトラックを切り替えることができます。

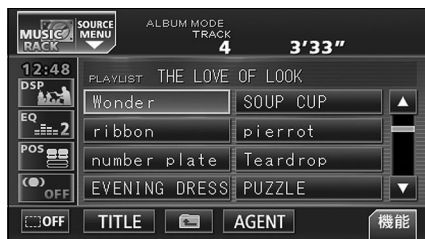
1 、または  を押します。

- （右側）：次曲を選ぶとき
- （左側）：頭出し・前曲を選ぶとき

トラック切り替えスイッチから選ぶ

1 聞きたいトラックにタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



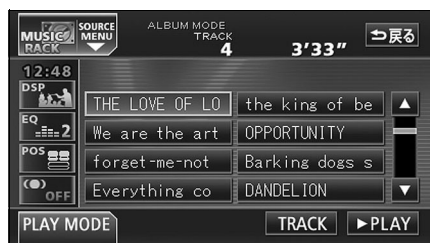
MUSIC RACK の使い方

プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック (曲) を選ぶ

1 再生画面で、 にタッチします。



2 **PLAY MODE** にタッチします。





3 再生したいプレイモードにタッチします。

- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。
- **▶PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイモードに収録されている先頭のプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。
- アーティストやジャンルのプレイモードを選んだ場合、**ALBUM** にタッチすると、選んだアーティスト名やジャンルが付与されているアルバム名を一覧で表示します。

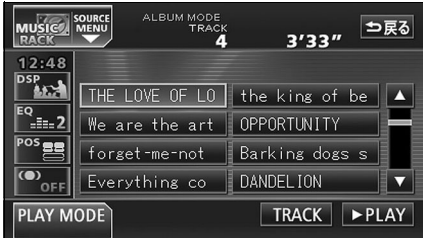


お知らせ

- 各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。
- 9個以上リストがある場合は  ・  にタッチすると、リストを切り替えることができます。

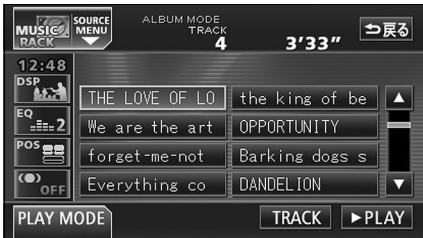
4 再生したいプレイリストにタッチします。

- **▶PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。



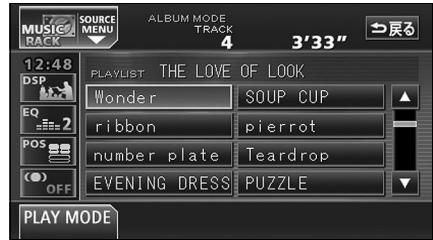
5 **TRACK** にタッチします。

- 選んだプレイリストに収録されているトラックを一覧で表示します。



6 聞きたいトラックにタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



MUSIC RACK の使い方

“AGENT” から選ぶ

録音したトラック（曲）がメディアクリックデータベースから音楽情報を付与されていると、お好みに合わせて、4つのカテゴリから選曲し、該当する曲が見つかった場合、再生することができます。

MUSIC RACK AGENT機能はあくまでもイメージ選曲です。実際の内容と異なる場合があります。

● カテゴリの項目とイメージされる内容は下記になります。

カテゴリ	項目	対象となるトラック（曲）
曲イメージ	パワフル	曲のテンポが速く、ムードの明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	曲のテンポが遅く、ムードの暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	日中のドライブなどをイメージした曲
	ハイウェイクルーズ	旅行など、高速道路を走行するドライブをイメージした曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブなどをイメージした曲
年代	~'60	60年代以前にヒットした曲
	'70	70年代にヒットした曲
	'80	80年代にヒットした曲
	'90	90年代にヒットした曲
	'00~	00年代以降にヒットした曲
タイアップ/ イベント	テレビ CM	タイアップ情報のTV番組オープニング、エンディング曲、CMソングなど
	ドラマ ムービー	ドラマ主題歌、挿入歌、映画主題歌、挿入歌など
	ラブソング	歌詞の主題などからLOVEソングとイメージされる曲
	メモリー	クリスマスやバレンタインなど、記念日をイメージされる曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲

同じカテゴリ内で、複数の項目を選択することはできません。

1 AGENT にタッチします。

● AGENT のカテゴリ選択画面が表示されます。



2 各カテゴリにタッチします。

● 同じカテゴリ内で、複数の項目にタッチすることはできません。



3 ▶PLAY にタッチします。

- 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。



早送り・早戻しする

いま聞いているトラック（曲）を早送り・早戻しすることができます。

1 ▶▶、◀◀ を“ピツ”と音がするまで押します。

- ▶▶ (右側)：トラック（曲）を進めるとき
◀◀ (左側)：トラック（曲）を戻すとき
- “ピツ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

プレイリストの中から聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内、全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチすると、その曲で再生を続けます。

プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されている曲を曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **PLAYLIST SCAN** にタッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返し再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST RPT にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲を繰り返し再生します。
- 一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返し再生します。もう一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると解除されます。

MUSIC RACK の使い方

トラック (曲) の順番をランダムに聞く

いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲でランダム再生します。
 - 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
 - **RAND** にタッチしたときに聞いているプレイリスト[※]内のトラック (曲) をランダムに再生します。プレイリスト[※]内の全トラック (曲) の再生が終了しても、同じプレイリスト内のトラック (曲) をランダムに再生します。
- ※: 選択しているプレイモードがアーティスト/ジャンルの場合は、アルバムリスト (ツリー図Aのaグループ) 単位で再生します。

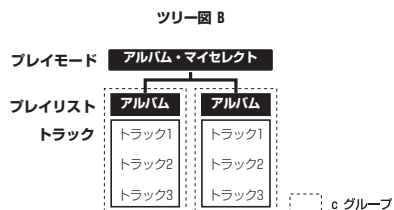
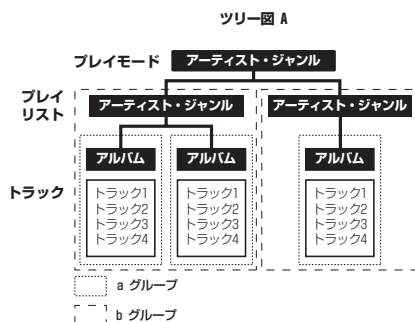
いま聞いているプレイモードの中からランダムに再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **PLAYLIST RAND** にタッチします。

- 全曲でランダム再生します。
- 一度 **PLAYLIST RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **PLAYLIST RAND** にタッチすると解除されます。

- アーティスト・ジャンルプレイモードから切り替えた場合: 今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト (ツリー図Aのbグループ) をランダムに選び、先頭のアルバム、先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック (曲) の再生が終了すると、別のプレイリスト (ツリー図Aのbグループ) をランダムに選び再生します。
- アルバム・マイセレクトプレイモードから切り替えた場合: 今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト (ツリー図Bのcグループ) をランダムに選び、先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック (曲) の再生が終了すると、別のプレイリスト (ツリー図Bのcグループ) をランダムに選び再生します。



トラック（曲）情報などを表示する


1 **TITLE** にタッチします。


- 再生しているトラックの情報を表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり **TITLE OFF** にタッチするとトラック切り替えスイッチに表示が切り替わります。

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のプレイリストに関連する携帯サイトへ接続することができます。詳しくは、「携帯電話でアルバム情報を見る」（75 ページ）を参照してください。

MUSIC RACKを止める

1  を押します。

- もう一度  を押すと再生が再開されます。



お知らせ

再生しているトラック（曲）情報の表示文字数は、次のようになります。

- **TITLE** にタッチしたとき：半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字
- **TITLE OFF** にタッチしたとき：プレイリスト名は、半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字、トラック名は、半角文字では最大14文字、全角文字では最大7文字

プレイリストの編集

本機は、MUSIC RACKに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

- 編集中は音楽の再生を一時停止します。

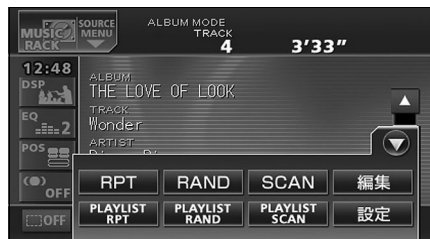
プレイリストの作成

プレイモードのマイセレクトにお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は「アーティストを変更する」（130 ページ）を参照してください。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



3 **マイセレクトの編集** にタッチします。



- 編集メニュー画面

プレイリスト名を入力する

4 **新規** にタッチします。



5 **タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



6 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(121 ページ)を参照してください。



7 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。

- トラック追加画面を表示します。



プレイリストの編集

作成したプレイリストにトラックを追加する

■トラック追加画面の見方



- 現在選ばれているプレイリスト内のトラックを追加する場合は、**12** の操作以降をおこないます。

8 **PLAY MODE** にタッチします。



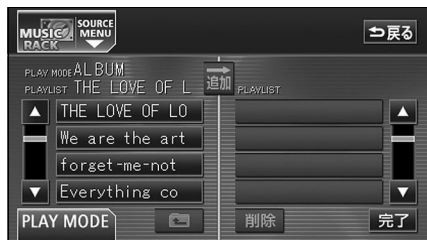
9 追加したいトラックを検索するためのプレイモードにタッチします。

- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。



10 追加したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。

- プレイリストに収録されているトラックを表示します。



11 追加したいトラックにタッチします。

- **追加** にタッチすると、10 の画面にもどります。



12 **追加** にタッチします。

- 選んだトラックをプレイリストの一番最後に追加します。
- **削除** にタッチすると、プレイリストに追加したトラックを削除することができます。



13 **完了** にタッチします。

- 4 の画面にもどります。

プレイリストの名称入力

1 **タイトル** にタッチします。



2 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ** (カタカナ)、**英字**、**数・記号** (数字・記号) にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(次ページ)を参照してください。
- 間違えた(または入力されている)ときは**クリア**にタッチすると、1つずつ消去されます。



お知らせ

- 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

プレイリストの編集

- 3 ひらがなのときは **無変換**、漢字のときは **変換** にタッチします。



- 4 **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更し、再度 **変換** にタッチします。



- 5 **完了** にタッチします。

カナ、英字、数・記号の入力

- 1 **カナ**、**英字**、**数・記号** にタッチします。

- 2 **半角** (または **全角**) にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **▲前**、**▼次** が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



- 3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた (または入力されている) ときは **クリア** にタッチすると、1つずつ消去されます。



- 4 **完了** にタッチします。



お知らせ

入力することができる文字数は最大16文字 (半角文字は32文字) までです。

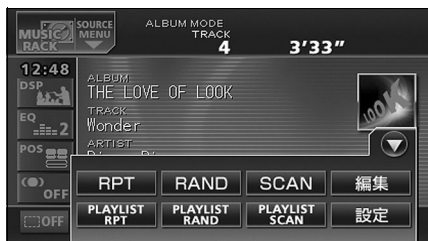
リスト名称の編集

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



3 **名称編集** にタッチします。

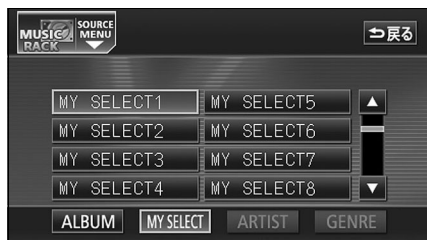


4 **プレイリストの編集** にタッチします。



5 **ALBUM**、または **MY SELECT** にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



7 **タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



8 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(121 ページ)を参照してください。



プレイリストの編集

- 9** タイトルを確認し、**完了** にタッチします。



ジャケット写真の表示を設定する

音楽CDやトラック（曲）を再生するとき、該当するジャケット写真を表示します。

- ジャケット写真の表示の **ON**、または **OFF** にタッチします。
- OFF** にタッチすると、音楽CD再生中もジャケット写真は表示されません。
- 有効期限が切れたジャケット写真は表示されません。



タイトル情報の再取得

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合など、再度、本機のデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

- 機能** にタッチします。

- 編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



- 名称編集** にタッチします。



お知らせ

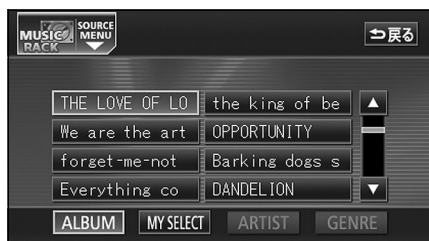
ジャケット写真の表示設定は、アルバムプレイモードを選択しているときのみ操作することができます。

4 プレイリストの編集 にタッチします。



5 ALBUM にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



7 タイトル取得 にタッチします。

- 該当するタイトル情報を取得後、直前の画面にもどります。



■ 複数のタイトル情報が存在する場合

8 該当するタイトルにタッチします。

- 最大10タイトルまで表示します。
- **戻る** にタッチすると、タイトルを取得せず、直前の画面にもどります。
- **情報** にタッチすると、タイトルに含まれているトラック (曲) タイトルを一覧で表示します。確認後、**決定** にタッチすると、タイトル情報を取得し、7 の画面にもどります。




プレイリストの編集

プレイリストの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。

- プレイリストは、MUSIC RACK設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、「作成した順番に並び替える」(下記)の手順で「表示並び替え」の **ON** にタッチしてください。

お好みに合わせて並び替える

- 1 MUSIC RACK 操作画面で、 にタッチします。



- 2 **PLAY MODE** にタッチします。

- 3 選びたいプレイモードにタッチします。

- 4 選びたいプレイリストにタッチします。

- 5 **▶PLAY** にタッチします。

- 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストがリストの上段にきます。

作成した順番に並び替える

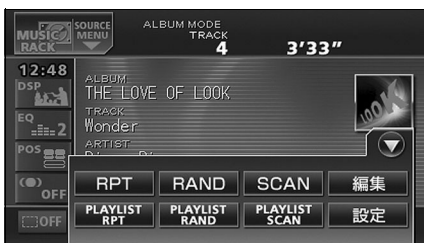
お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成(録音)した順番に戻すことができます。

- 1 **機能** にタッチします。



- 2 **設定** にタッチします。

- MUSIC RACK 設定画面が表示されます。



- 3 表示並び替えの **デフォルト** にタッチします。

- 作成(録音)した順番にプレイリストを並び替えます。



プレイリストの削除

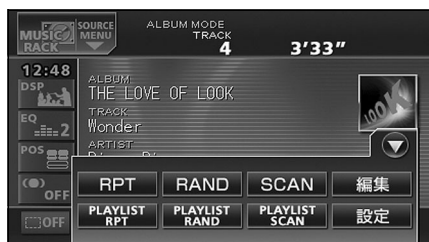
プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	消去されるデータ
ALBUM	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
MY SELECT	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



3 **削除** にタッチします。



4 **プレイリストの削除** にタッチします。



5 **ALBUM**、または **MY SELECT** にタッチします。



6 プレイリストにタッチします。

- 消去確認画面が表示されます。

7 **YES** にタッチします。



お知らせ

アーティストおよびジャンルのプレイリストは、該当するトラック（曲データ）が全て消去されると、プレイリストも自動で削除されます。

トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索するとき、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

- 編集中は音楽の再生を一時停止します。

トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

トラック編集画面の呼び出し

- 1 **機能** にタッチします。

- 2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



- 3 **名称編集** にタッチします。



- 4 **トラックの編集** にタッチします。



- 5 プレイモードを選びます。

- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

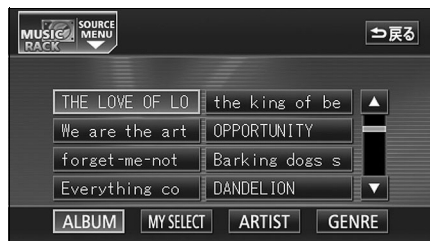
- 6 **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。



お知らせ

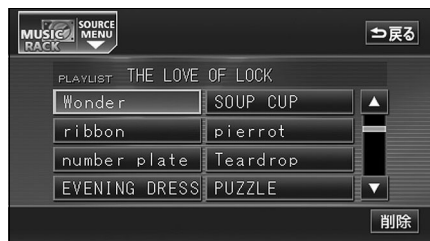
AGENTのカテゴリを変更することはできません。

- 7 編集したいプレイリストにタッチします。



- 8 編集したいトラックにタッチします。

- トラック編集画面が表示されます。



トラックタイトルを変更する

- 1 トラック編集画面で、**タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



- トラック編集画面

- 2 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(121 ページ)を参照してください。



トラックの編集

アーティストを変更する

1 **アーティスト** にタッチします。

- 登録アーティスト一覧画面が表示されます。



2 選びたいアーティスト名にタッチします。



- **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、「プレイリストの名称入力」(121 ページ) を参照してください。

ジャンルを変更する

1 **ジャンル** にタッチします。



2 ジャンルにタッチします。

- **OTHER** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



3 **完了** にタッチします。



お知らせ



・ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

トラックの削除

録音したトラックを削除することができます。

選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、削除されるデータが違います。

選択したプレイモード	選択したトラック	削除されるデータ
マイセレクト内の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を削除します。トラック（曲データ）は削除されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストは削除されます。トラック（曲データ）は削除されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
マイセレクト以外の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を削除します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を削除します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。



3 **削除** にタッチします。



4 **トラックの削除** にタッチします。



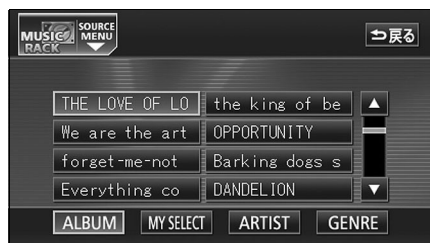
トラックの編集

5 プレイモードを選びます。

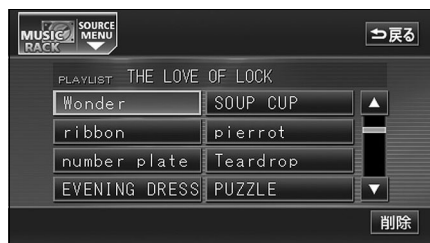
- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

6 **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。

7 削除したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。



8 削除したいトラックにタッチします。



9 **削除** にタッチします。

- 削除確認画面が表示されます。

10 **YES** にタッチします。

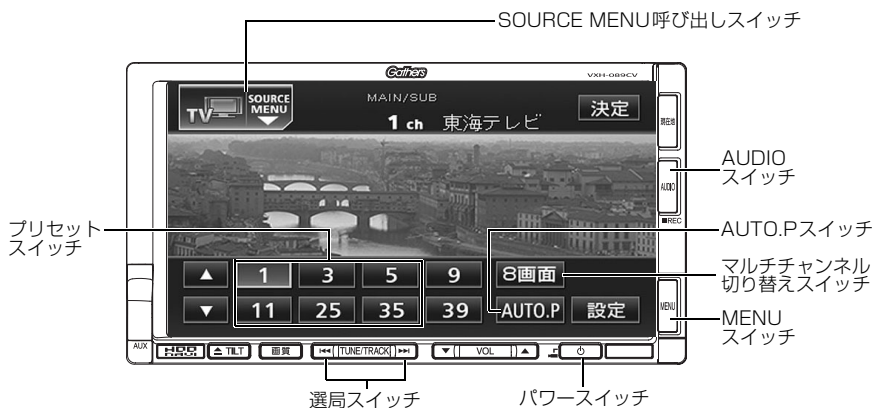


お知らせ

- 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

TVの使い方

エンジンスイッチがII (ON)、またはI (ACC) で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止 (車両速度が0 km/h) した場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にソースをTVに切り替えた場合、音声のみになります。)



TVを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

2 **TV** にタッチします。

- TV 操作画面になります。
- **決定** にタッチすると全画面になります。TV 操作画面にしたいときは、**AUDIO** を押す、または画面にタッチします。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

1 **▶▶**、**◀◀** を押す、または **▲**、**▼** にタッチします。

- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。

▶▶ (右側) **▲** (上側) :
チャンネルUP (大きくなる)

◀◀ (左側) **▼** (下側) :
チャンネルDOWN (小さくなる)

お知らせ

- オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でTVをご覧になることができます。
- TV 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
AUDIO を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- 地上アナログTV放送は2011年7月に終了し、地上デジタルTV放送に移行します。2011年7月以降は、内蔵のワンセグチューナでTV放送をご覧ください。

2011年 アナログテレビ
放送終了(予定)

TVの使い方

自動で選ぶ

1 、を“ピッ”と音がするまで押す、または、に“ピッ”と音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「**チャンネルを記憶する**」下記を参照してください。

2 **決定** にタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- “AUTO.P”が表示されているときは**AUTO.P**にタッチし、“AREA.P”が表示されているときは**機能**にタッチして**エリア**（136ページ参照）にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。



お知らせ

- 受信電波の弱い地域では、自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P**を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが点滅し自動的に選局を始めます。“ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し、一時的に記憶されます。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- もう一度、**AUTO.P**にタッチすると、マニュアルで記憶したチャンネルに表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

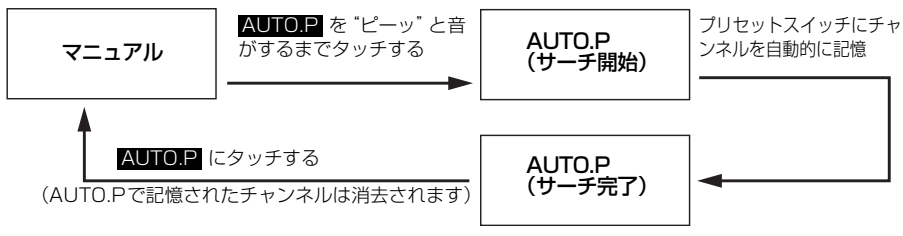
2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。(このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。) AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



マルチチャンネルビューを表示する

プリセットスイッチに記憶されている放送局を最大8画面に分割して、同時に表示することができます。現在、放送されている複数の番組を確認しながら、お好みの番組を選ぶことができます。

1 8画面 にタッチします。



- プリセットスイッチに記憶されている番組を順に受信して、並べて (最大8画面) 表示します。
- **戻る** にタッチすると1画面にもどります。
- 各表示画面は順次動画、静止画の順に切り替わります。
- **○○○** (放送局) にタッチすると全画面になります。



お知らせ

- **8画面** にタッチしてからプリセットスイッチに記憶されている番組をすべて表示するまで音声は聞こえません。すべて表示したあと動画の音声は聞こえます。
- 受信できなかった放送局は画面に表示されません。

TVの使い方

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - ・ エリアプリセット
 - ・ 音声多重放送の切り替え
 - ・ 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P”の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



お知らせ

- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- TV設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

局名スイッチについて

複数の放送局が同じチャンネルを使って放送している地域では、重複している放送局を切り替えることができます。

- 重複している放送局がある場合、局名重複インジケータが表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。

局名重複インジケータ

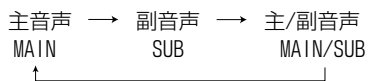


音声多重放送を切り替える


音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **主/副** にタッチすることにより、下図の順に切り替わります。





お知らせ

2ヶ国語放送を受信したときは、が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

TV の使い方

TV を終わる

1  を押します。

- もう一度  を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（映像画面中にOFFした場合は、音声のみ）されま
す。

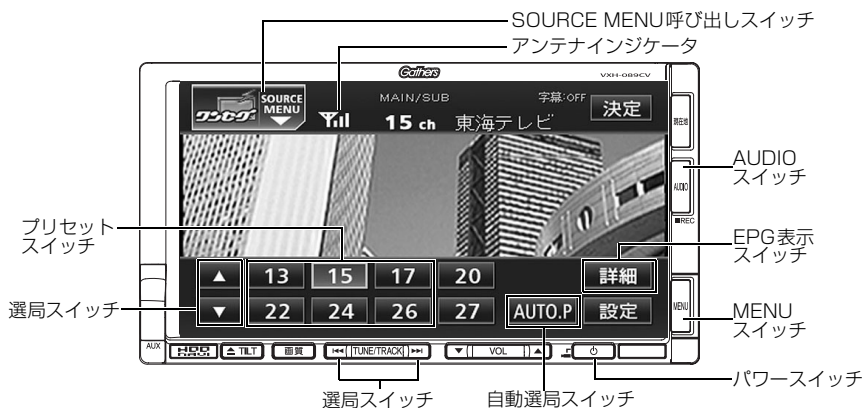


お知らせ

- 地上デジタルTV放送では、デジタルTV放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。
そのため、以下の現象が起こる可能性があります。
 - 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
 - 今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る。また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。
 - チャンネルと放送局名が一致しない。
 - プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
 - プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。
これらの場合は、AUTO.P スイッチ（134ページ参照）や選局スイッチ（133ページ参照）でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

ワンセグの使い方

エンジンスイッチがII (ON)、またはI (ACC) で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止 (車両速度が0 km/h) した場合のみ、ワンセグ放送をご覧になることができます。(走行中にソースをワンセグに切り替えた場合、音声のみになります。)



1 ワンセグを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

2 ワンセグ にタッチします。

- ワンセグ操作画面になります。
- **決定** にタッチすると全画面になります。ワンセグ操作画面にしたいときは、**AUDIO** を押す、または画面にタッチします。



お知らせ

- オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でワンセグ放送をご覧になることができます。(リア席モニターに表示されないコンテンツもあります。)
- ワンセグ操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。**AUDIO** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ワンセグ操作画面で **決定** にタッチしたとき、全画面で表示される放送と4:3画面(画面の左右両端が黒表示)で表示される放送があります。
- 本機は双方向通信やデータ放送に対応していません。
- アンテナインジケータは、放送電波の受信レベルを表します。電波の状態によって以下のように表示されます。



弱 ← → 強









電波の受信レベルが弱くなると、画面が静止して音声が出なくなることがあります。

- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルが弱くても映像が受信できたり、強くても映像が静止したり音声がとぎれる場合があります。





ワンセグの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 、 を押す、または 、 にタッチします。
- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。
 -  (右側)  (上側) :
チャンネルUP (大きくなる)
 -  (左側)  (下側) :
チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

- 1 、 を“ピッ”と音がするまで押す、または 、 に“ピッ”と音がするまでタッチします。
- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。
 - チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」(次ページ)を参照してください。
- 2 **決定** にタッチします。
 - 放送局受信画面に切り替わります。



お知らせ

- AUTO.Pは、受信電波の弱い地域では自動受信できなかつたり、電波の状態によって最大で3分程度かかることがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なったり、放送局名が表示されない場合があります。
- AUTO.Pで自動受信をした場合、地上アナログTV放送の電波などを受信することがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P” が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P** にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようにします。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が点滅し、自動で選局を始めます。“ピッピツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、マニュアルで記憶したチャンネルに表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

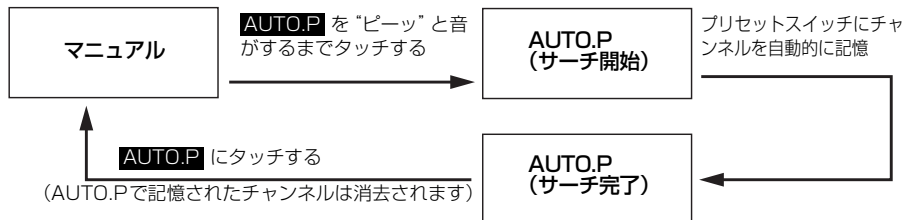
2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンセグの使い方

ワンセグ設定画面の切り替え

ワンセグソースでは、ワンセグ設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - ・音声多重放送の切り替え
 - ・字幕の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 設定 にタッチします。

- 音声多重放送や字幕の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとワンセグ操作画面にもどります。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

1 機能 にタッチします。

2 主/副 順に切り替わります。



お知らせ

- ワンセグ設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、ワンセグ映像画面に切り替わりますので連続して記憶できません。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、**音多** が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕を提供しているときは、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **字幕** をタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

字幕：OFF → 字幕：1 → 字幕：2
↑



緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送(EWS:Emergency Warning System)は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

EPG(電子番組表)を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組を探ることができます。

1 **詳細** にタッチします。

- 番組タイトル画面が表示されます。
- **戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。



- 番組タイトル画面

ワンセグを終わる

1 **電源** を押します。

- もう一度 **電源** を押すと、電源を切る前の受信放送局(チャンネル)が受信(映像画面中にOFFした場合は、音声のみ)されます。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。

△ 注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。




ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面 1層 2層	< MPEG 2方式 > 133分 242分
	12cm／両面 1層 2層	266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このDVDはリージョンが違うので再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。








お知らせ

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVD プレーヤーをお使いになる前に

ディスクに表示されているマークについて

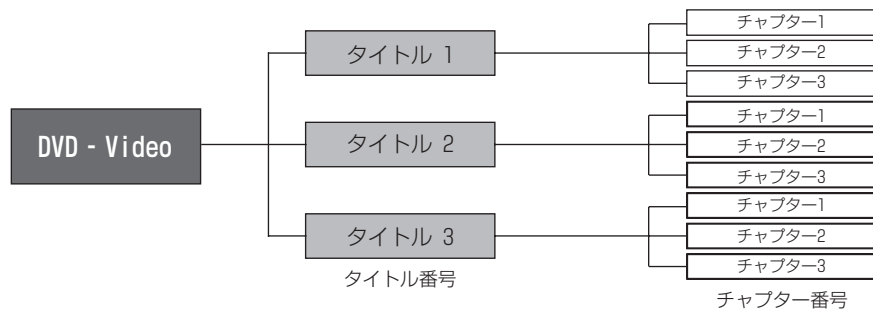
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

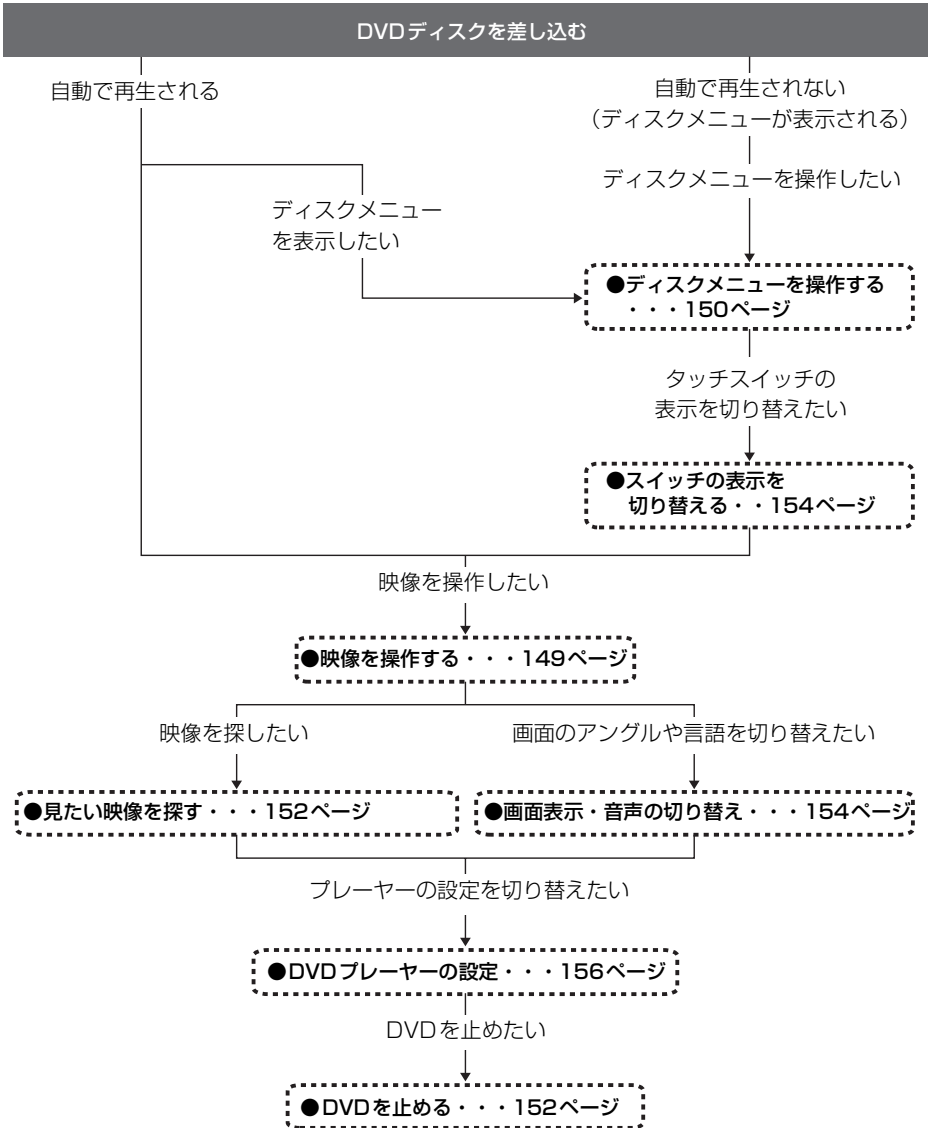
DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



DVDプレーヤーの使い方

エンジンスイッチがII (ON)、またはI (ACC) で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止 (車両速度が0 km/h) した場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。)



DVDを見る

ディスク差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

2 **DISC** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ (タッチスイッチ) を表示する場合は、**AUDIO** を押す、または画面にタッチします。



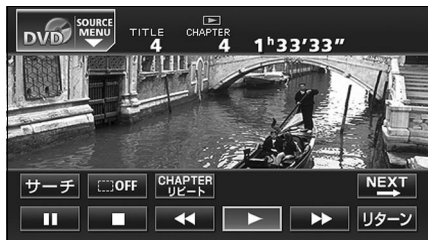
お知らせ

- オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。
- ソースをDVDプレーヤーに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**AUDIO** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

映像を操作する

映像を再生する

- 1 ▶ にタッチします。



早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻しする

- 1 ▶▶、または ◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

- ▶▶ (右側)：映像を進めるとき
 - ◀◀ (左側)：映像を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



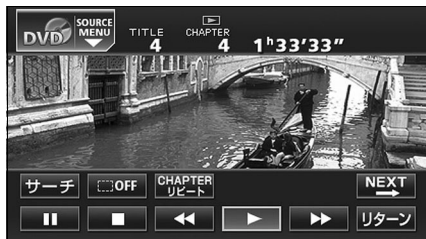
お知らせ

ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(150ページ)

タッチスイッチから早送り・早戻しする

- 1 ◀◀、または ▶▶ を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



いま見ているチャプターを繰り返し再生する

- 1 CHAPTERリピート にタッチします。



DVD プレーヤーの使い方

映像を一時止める

1 **II** にタッチします。

- 一時停止中 (**II**) に **▶▶** を短くタッチするとスロー再生し、**II** にタッチするとコマ送り再生します。



映像を止める

1 **■** にタッチします。



ディスクメニューを操作する

ダイレクトタッチ操作画面でディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **AUDIO** を押す、または画面にタッチします。

2 **NEXT** にタッチします。

3 **メニュー**、**トップメニュー**、または**ダイレクト** にタッチします。

- ダイレクトタッチ操作画面が表示されません。



お知らせ

- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。
- ディスクによって、表示されるメニューをダイレクト操作画面から操作できない場合があります。

画面を直接タッチして操作する


メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

- 1 ダイレクトタッチ操作画面でメニューのアイコンに直接タッチします。



タッチスイッチから操作する

画面にタッチしづらいときは、タッチスイッチで操作することができます。

- 1 ダイレクトタッチ操作画面で  にタッチします。



- 2     にタッチし、メニューを選びます。

- **ダイレクト** にタッチすると画面に直接タッチして操作することができます。


- 3 **決定** にタッチします。



DVD プレーヤーの使い方

DVDを止める

1  を押します。



- もう一度  を押すと、再生が再開（映像画面中にOFFした場合は、音声のみ）されます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 、または  を押します。

- （右側）：次のチャプターを選ぶとき
- （左側）：頭出し・前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号



タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

- タイトル番号入力画面が表示されます。

タイトル番号



2 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。



3 **決定** にタッチします。



お知らせ

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

チャプター番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 **+** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

- チャプター番号入力画面が表示されます。



4 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、チャプター番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、チャプター番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、チャプター番号が10ずつ切り替わります。




5 **決定** にタッチします。

DVD プレーヤーの使い方

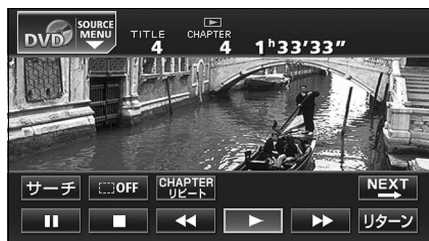
スイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。


タッチスイッチを消す


1  にタッチします。

- **AUDIO** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

1  にタッチします。

2  にタッチします。

3 **移動** にタッチします。

- タッチすることによりタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。




画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1  にタッチします。

2 マルチアングルマークが表示されているときに **アングル** にタッチします。

- アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



3 **アングル切換** にタッチします。

- アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号



お知らせ

アングル切換 にタッチすることにより、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

- 字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切換** にタッチします。

- 字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語



音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

- 音声番号および言語が表示されます。



3 **音声切換** にタッチします。

- 音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語



お知らせ

- **字幕切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **音声切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。

DVD プレーヤーの使い方

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。



3 **初期設定** にタッチします。

● 初期設定画面が表示されます。



4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	158
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	158
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	159
映像出力切換	画面サイズを設定します。	160

お知らせ

初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに **AUDIO** を押して画面を切り替えると、DVDの再生は停止した状態になります。

再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(149 ページ参照)

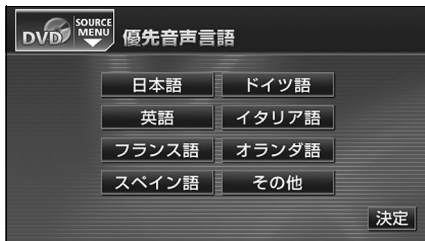
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(161 ページ) を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



お知らせ

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- 優先言語を設定しても、ディスクにより有効にならない場合があります。

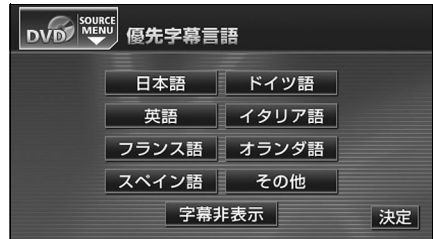
字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。
- **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(161 ページ) を参照してください。



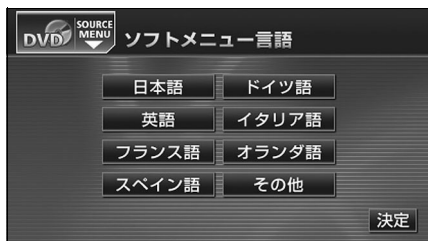
3 **決定** にタッチします。

DVD プレーヤーの使い方

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

- 1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。
- 2 お好みの言語にタッチします。
- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

- 1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。
- 2 言語コードを入力します。
- 言語コードについては「言語コード一覧」(161 ページ) を参照してください。



- 3 **決定** にタッチします。



お知らせ

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

マルチアングルマークの表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

- 1 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。
- タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



- 2 **決定** にタッチします。

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。

お知らせ

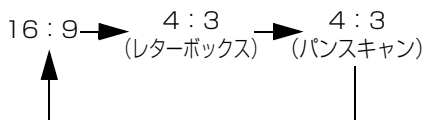
- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
 - レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル2～7……子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

DVD プレーヤーの使い方

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

- タッチすることにより下図の順に画面サイズが切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

- **16:9**
通常のワイドサイズで表示されます。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。
- **4:3 (レターボックス)**
上下両端が黒く表示された映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。
- **4:3 (パンスキャン)**
左右両端がカットされた映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

△ 注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。



お知らせ

リア席モニターなど別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で映像出力を切り替えてもリア席モニターで表示される画面サイズは切り替わりません。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンディー語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンダ語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌピアック語	1907	サンド語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバック語
0101	アファル語	1009	イディッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アプバジャ語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフリカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ソマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストゥ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スンダ語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスラマ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リトアニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チギリス語
0301	カタロニア語	1309	マオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラヤーラム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラータ語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタル語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トウイ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ペルシア語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベグ語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ボラビュク語
0625	フリジア語	1513	オモロ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グアラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になります。エンジンスイッチがII (ON)、またはI (ACC) で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止 (車両速度が0 km/h) した場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にソースをVTRに切り替えた場合、音声のみになります。) VTR機器を接続する場合は、販売店で「VTRコード」をお買い求めください。



VTRを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

2 **VTR** にタッチします。

- VTR画面になります。
- **AUDIO** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTR設定画面の切り替え

VTRモードでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- 画面モード (ワイドモード) の切り替え

1 **設定** にタッチします。

- **戻る** にタッチするとVTR操作画面にもどります。

VTRを終わる

1 **電源** を押します。

- もう一度 **電源** を押すと再生が再開 (映像画面中にOFFした場合は、音声のみ) されます。



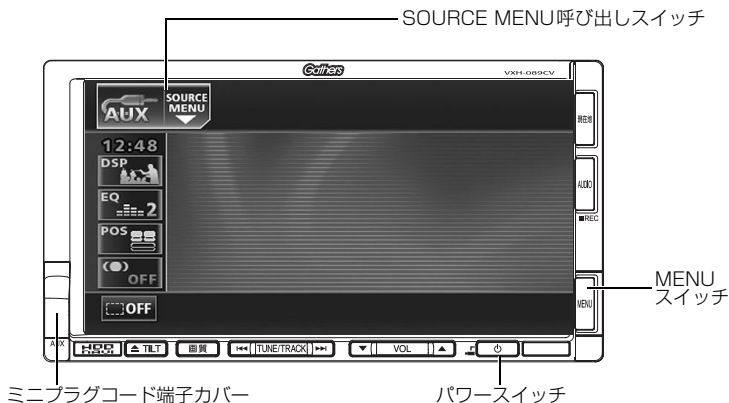
お知らせ

- オプションのリア席モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。
- VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
AUDIO を押すと再度、表示します。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

ポータブルオーディオ機器の操作

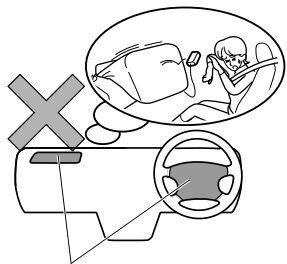
市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を再生することができます。ポータブルオーディオを接続する場合は、「ミニプラグコード」をお買い求めください。

※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。

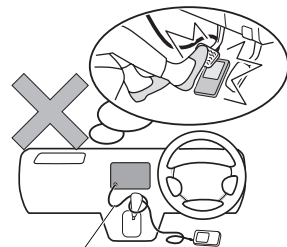


ポータブルオーディオをお使いになる前に

警告



SRSエアバッグ展開部



ミニプラグコード

接続したポータブルオーディオやミニプラグコードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

※：SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。

ポータブルオーディオやミニプラグコードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。

運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

ポータブルオーディオ機器の操作

ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていることを確認してください。

1 (接続するとき) ミニプラグコード端子カバーを外します。

2 ミニプラグコードを接続します（取りはずします）。

3 (取りはずしたときは) ミニプラグコード端子カバーをもともどします。

ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱書をご覧ください。

1 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。


2 オーディオのソースを切り替えます。


- 「ソースの切り替え方」(42 ページ) を参照してください。

3 **AUX** にタッチします。

- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。

ポータブルオーディオを終わる

1  を押します。

- もう一度  を押すと再生が再開されます。

△ 注意

- ディスプレイが OPEN または TILT 状態では、ミニプラグコードの抜き挿しはしないでください。
- ミニプラグコードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中は、ポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

🔊 お知らせ

- オーディオのソースがAUXのときにミニプラグコードを抜き挿しすると、雑音が発生しスピーカ破損の原因となる場合があります。必ずオーディオをOFFにするか、他のソースに切り替えてから行ってください。
- オーディオのソースがAUXのときにポータブルオーディオの電源を切り換えると、雑音が発生しスピーカ破損の原因となる場合があります。必ずオーディオをOFFにするか、他のソースに切り替えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意下さい。
- AUXを終了してもポータブルオーディオは、再生を続けます。(音声は出力されません。)
- オーディオのソースがAUXのときに音量を調整すると、AUX用の音量レベルとして記憶させることができます。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に装着されているシガライターソケットやアクセサリソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
ディスクをお確かめください	ディスクが傷ついている、または裏返しになっているため。	ディスクが傷ついているときは他のディスクを入れてください。裏返しの場合は正しく入れてください。
	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの場合は正しく入れてください。
異常検知で停止中です※	なんらかの原因でCD/DVDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
音楽データがありません	MUSIC RACKに何も録音されていないときに、MUSIC RACKモードに切り替えようとしたため。	MUSIC RACKに録音してからMUSIC RACKモードに切り替えてください。(106ページ参照)
HDDの容量が一杯になったので、録音を停止します	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。(127、131ページ参照)
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(127、131ページ参照)
タイムオーバーなので、録音を中止します	アナログ録音時、連続録音時間が300分に達したため。	再度、 AUDIO を1秒以上押して録音を続けてください。
録音完了トラックがありませんので、CDを再生します	デジタル録音開始後、1曲も録音完了せずに終了したため。	再度、録音する場合は、 AUDIO を1秒以上押してください。
音飛びしましたので、録音をやり直します	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
現在録音中の曲が録音完了するまで、しばらくお待ちください	録音開始後、現在再生している曲の録音が完了していないときに操作した場合、先頭から再び録音をやり直す必要があるため。	1曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
受信したタイトルがありません	FM de TITLEで受信したタイトルがない、またはHDDに保存したCD情報がないため。	CD情報インジケータが表示されるまでお待ちください。
受信した新譜情報がありません	FM de TITLE IIで受信した新譜情報がないため、またはHDDに保存した新譜情報がないため。	新譜情報受信メッセージが表示されるまでお待ちください。
ジャケット写真を表示できませんでした	ジャケット写真を表示する有効期限が切れているため。	有効期限の切れたジャケット写真は表示することができません。
	受信した新譜情報に不備があるため。	受信した新譜情報に不備がある場合、ジャケット写真を表示できません。ご了承ください。

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
更新するデータベースはありません	受信したCDタイトルや新譜情報が1つも存在しないときに、 タイトル更新 や 更新 にタッチしたため。	FM多重チューナー設定が「CD情報」であることを確認してください。また、受信できるまでお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新、または更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新、または更新操作を行ってください。
録音禁止されているため、録音をキャンセルします	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	AUDIO を1秒以上押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	MUSIC RACK内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。(127ページ参照)
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	MUSIC RACK内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。(131ページ参照)
プレイリストが一杯です	MUSIC RACK内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。(118、127ページ参照)
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(131ページ参照)
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。(107、108、109ページ参照)
異常検知でMUSIC RACK停止中です	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンスイッチをOFF (0) にしてください。
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
MUSIC RACK準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。	MUSIC RACKモードに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	録音中、車のエンジンをOFF (0) にし、再度車のエンジンをON (1またはII) にしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
高温のため、録音を停止します ※	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
低温のため、録音を停止します ※	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がらるまで、しばらくそのままでお待ちください。

※ この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ消去中 【注】消去中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
画像編集のため、オーディオOFF します	MUSIC RACKモードのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオのソースを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読みません ディスクが正しいかご確認下さい	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。(60ページ参照)
画像を表示できません 容量がオーバーしています	画像の容量が大きすぎるため。	1.5MB以下の画像ファイルとしてください。(60ページ参照)
画像を表示できません データをご確認下さい	壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。(60ページ参照)
カスタム画像がありません カスタムの変更から画像の登録ができます	カスタム画像とする画像データが登録されていないため。	カスタムに画像を登録してください。(58ページ参照)
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。(60ページ参照)
画像ファイルの消去に失敗しました	何かしらの原因で、HDDから画像データが消去できなかったため。	再度消去してください。消去できない場合は、販売店に相談してください。
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。
高温のためHDD停止中です ※	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のためHDD停止中です ※ 1	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がらるまで、しばらくそのままお待ちください。
放送を受信できません	ワンセグ放送の受信エリア外にいるため。	ワンセグ放送を受信できるエリアに移動してください。

※ この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
再生できるディスクが入っていません	再生可能なディスクがスロットに入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
異常検知でDVD 停止中です ※ 2	何らかの原因でDVD プレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD 停止中です ※ 1	DVD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVD は演奏できません	対応していないDVD を入れているため。	対応しているDVD を入れてください。(37、145 ページ参照)
受け付けられないコードです	DVD に対応していない言語コードを入力したため。	DVD に対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。

※ 1 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

※ 2 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていない。	エンジンスイッチを「I（ACC）」または「II（ON）」の位置にしてください。
CD・DVDを入れてCLOSEボタンを押したが、ディスプレイがクローズしない	CD・DVDの挿入が完了する前にCLOSEボタンを押した。	挟み込み防止のため、CLOSEボタンは反応しませんが、機能しません。再度CLOSEボタンを押してください。また、この場合オートクローズ機能はキャンセルされています。
CD・DVDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（37ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（38ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっている。	CD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・DVDを挿入してください。（37ページ参照）
	自動再生されないDVDディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（150ページ参照）
CD・DVD挿入後、自動再生しない	ナビ操作等の負荷によりCDDDB検索に時間がかかる場合があります。	しばらくそのままお待ちください。自動再生・録音が始まりません。
CDを再生しても、自動で録音されない	デジタル録音モードが「SELECT」に設定されている。	デジタル録音モードを「AUTO」に設定してください。（104ページ参照）
	MP3/WMAを再生している。	MP3/WMAは録音できません。

知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処置
アナログ録音を開始したが録音されていない。オーディオ画面上は録音モードであった	エンジン始動直後に録音を開始した。	地図画面表示後、10秒程度待つてから録音を開始すると正常に録音出来ます。 録音開始の案内表示が表示された場合でも、録音マークが表示されていない場合は、録音が正常に行なわれていませんので、一度、録音を解除してから、再度録音を開始してください。
ATRAC3モード中のプレイ時間（表示）が消えたり、止まることがある	録音のトラックが切り替わったときなど、HDDでの処理負荷が大きくなるため。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。（録音は正常に行なわれています）
録音中にディスク名、タイトル名、アーティスト名が表示されない	ナビ内部のCDDDBにヒットしない。または、2つ以上のCDDDBにヒットした。CDDDBにヒットする場合でも以下の場合には表示処理に時間を要するため、表示出来ない場合があります。 ・ ディスク挿入後の1曲目を再生（録音も含む）するとき ・ 電源投入後（ACC OFF/ON）に最初に再生する曲 ・ ソース切替時に最初に再生する曲	CDDDBにヒットしない場合でも、CD-TEXT付きのCDでは、ソースをDISCに切り替えると、再生中に情報を表示することが出来ます。録音中、ATRAC3モードでの再生中、MUSIC RACKでの再生中は、CD-TEXTの情報は表示されません。
プレイ時間（表示）が点滅して表示される。場合によっては、数秒飛ばして表示される	以下の場合には、HDDでの処理負荷が大きくなるため。 ・ デジタル録音開始直後の1曲目（短い場合は特に）再生時。 ・ 各トラックの録音終了／開始時の録音インジケータバーが伸びる前後。 ・ AUDIO 釦押しによる録音解除、又は全トラック録音完了したとき。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
アーティスト名などが表示されない	第3水準の漢字が含まれる情報。	第3水準以外の漢字をご使用ください。
自動録音開始直後、音声が一瞬止まった 録音中に音が飛ぶことがある	録音開始直後 又は 録音トラック切り替え時は、再生処理に時間を要するため、録音中に音声が一瞬途切れる場合があります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。（録音は正常に行なわれています）
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	現在地 を押してください。（65ページ参照）
音声は出るが、TV映像が出ない（停車中）	車両が停止（車両速度が0km/h）していない。	車両を完全に停止（車両速度が0km/h）してください。

症 状	考えられること	処置
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	エンジンスイッチを「I (ACC)」または「II (ON)」にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない	VTR入力になっている。	TV にタッチして、放送局を選択してください。
ワンセグ放送が受信できない	ワンセグ放送の放送エリア外にいる	ワンセグ放送を受信できるエリアに移動してください。
ワンセグ放送の映像がとまって、音が出ない	ワンセグ放送の受信状態が良くない	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない	取り込む画像のファイル形式は適切ですか。	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。(60ページ参照)
オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか。高電圧を発生させて作動するもの(例) マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの(例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

用語説明

- スーパーオーディオCD (SACD)** 原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD (Direct Stream Digital) 方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。スーパーオーディオCDには以下の種類があります。
- シングルレイヤーディスク
HD層※が1層のみのディスク
 - デュアルレイヤーディスク
HD層※が2層のみのディスク
 - ハイブリッドレイヤーディスク
HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク
- ※HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層
- CD-EXTRA** 音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。
- Mixed Mode CD** 音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。
- MP3** MP3はMPEG Audio Layer IIIの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

- ID3タグ** MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。
- エンコーダ** WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。
- ATRAC3
(アトラックスリー)** 「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができるので、1枚のCDに複数の音楽を録音することができます。
- SCMS
(シリアルコピー
マネージメントシステム)** デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）です。
- Gracenote 音楽認識サービス** 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®]により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
- 詳細については、次の Web サイトをご覧ください：
www.gracenote.com
- コピーコントロールCD
レーベルゲートCD** パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。
- コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。
- ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



用語説明

セッション | CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

ワンセグ放送 | ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯・移動体向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

Gracenoteメディアデータベースのご利用について

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア(以下「Gracenote ソフトウェア」)を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報(以下「Gracenote データ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」)から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用してはお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2007

FM de TITLE サービス放送局について

FM de TITLE が受信できる放送局（2004年9月現在）

放送局名	愛称	放送局名	愛称
FM北海道	air-G	FM滋賀	E-Radio
FM青森	AFB	fm osaka	EASY851
FM岩手	FMI	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM Kobe
FM秋田	Co-Much FM	FM山陰	V-air
FM山形	BOY-FM	FM岡山	—
FM仙台	Date-FM	広島FM放送	—
ふくしまFM	—	FM山口	FMY
FM栃木	レディオ・ベリー	FM香川	—
FMぐんま	—	FM徳島	Passion Wave
TOKYO FM	TOKYO-FM・TFM	FM高知	Hi-Six
K-MIX	K-MIX	FM愛媛	—
FM AICHI	FMA	FM福岡	BEAT STATION
FM三重	—	FM佐賀	—
岐阜FM	レディオ エイティ	FM長崎	SMILE-FM
FM新潟	—	FM中九州	FMK
FM長野	—	FM大分	Air radio FM88
FMとやま	—	FM宮崎	JOY-FM
FM石川	HelloFive	FM鹿児島	μFM
FM福井	—	FM沖縄	—

索引

五十音順

ア

明るさ	66
アングル切換	154
色合い	66
色の濃さ	66
エリアスイッチ	71,136
音の調整	45
音質の調整	46
音質補正の設定 (ハーモナイザー)	55
音声多重放送	137,142
音量バランス	53

カ

画質調整	66
画像データを書き換える	58
画像データを保存する	61
画面の調整	64
画面モード切り替え	68
局名スイッチ	72,137
交通情報	71
コントラスト	66

サ

視聴制限	159
字幕切換	155
主音量の調整	45
スーパーオーディオ CD	38,172
スイッチの表示を切り替える	154
操作音の設定	45

タ

地上アナログ TV 放送	41,133
地上デジタル TV 放送	41
チャンネルを記憶する	134,141
データベースについて	87
トラックの編集	128

ハ

背景画 (壁紙)	57
標準画モード	68
昼画表示	64
プレイモード	86
プレイリストの編集	118
ポータブルオーディオ機器の操作	163

マ

マルチアングルマーク	154
マルチチャンネルビュー	135
名称入力	121

ヤ

夜画表示	64
------------	----

ラ

ラジオの使い方	69
録音方式の設定	104

ワ

ワイド1画モード	68
ワイド2画モード	68
ワイド3画モード	68
ワイドモード	68
ワンセグ放送	41,139

索引

アルファベット

- A**
 AREA.P 71,136
 AUTO.P 70,134,141
- C**
 C-thru Disc 37
 CCCD (Copy Control CD) 38
 CD-EXTRA 38,172
 CD-R (CD-Recordable) 37
 CD-RW (CD-ReWritable) 37
 CD プレーヤーの使い方 73
 Circle Surround II の設定 47
- D**
 DSP (音場) の設定 48
 DVD ± R (DVD ± Recordable) 37
 DVD ± RW (DVD ± ReWritable) 37
 DVD ビデオの特長 144
 DVD プレーヤーの使い方 148
- E**
 EQ (イコライザ) の調整 49
 EQ カーブ 49
- H**
 HOME 78
- L**
 LOUDNESS 54
- M**
 Mixed Mode CD 38,172
 MP3/WMA について 80
 MP3/WMA プレーヤーの使い方 76
 MUSIC RACK の使い方 110
 MUSIC RACK への録音 102
- P**
 POS 51
- R**
 RAND 74,79,116
 RPT 74,78,115
- S**
 SCAN 74,78,115
- T**
 TV 設定画面 136
 TV を見る 133
- V**
 VTR コード 162
 VTR の使い方 162

MEMO

MEMO

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-663521

(受付時間 9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く)

販売元 株式会社 **ホンダ** アクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番4号
製造元 富士通テン株式会社 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号



* 0 9 0 0 0 2 - 3 0 8 5 0 7 0 0 *

PART NO. 08A40-9K0-4100-8B
090002-30850700 0704C(N)